

令和元年度

成田国際空港周辺航空機騒音測定結果報告書

令和3年2月

千葉県環境生活部

## はじめに

成田国際空港（旧新東京国際空港）は、日本の表玄関として昭和53年5月に開港し、現在ではA滑走路（4,000メートル）、B滑走路（2,500メートル）の2本の滑走路による運用が行われています。

県では、昭和53年8月に成田国際空港に発着する航空機の騒音影響を強く受ける関係市町村の地域を、生活環境の保全のうえで維持することが望ましいとされる環境基準の適用地域に指定しました。

また、空港周辺での航空機騒音の分布状況と環境基準の達成状況を把握するため、空港設置者である成田国際空港株式会社（NAA）や周辺市町と連携して、固定測定局を設置し、公益財団法人成田空港周辺地域共生財団が管理する航空機騒音集計処理システムを用いて常時監視を実施しています。

成田国際空港においては、騒音影響の軽減のため、低騒音型機の導入促進等の対策がとられていますが、いまだ環境基準が達成されていない地域があることから、県では、適宜、国及びNAAに対し、環境基準の早期達成に向けて、対策の実施を要請しているところです。

令和元年度の年間発着回数は、新規就航や増便などにより過去最高の25.8万回を記録しました。更に、空港機能強化策として、令和元年10月からA滑走路の深夜の発着時間が延長され、B滑走路の延伸やC滑走路の新設等も計画されております。成田国際空港の発着便数はさらに増加すると予想されることから、引き続き騒音影響を監視していく必要があります。

本報告書は、令和元年度における空港周辺の固定測定局90局の騒音測定結果をとりまとめ、環境基準の達成状況等を整理したものです。

本報告書が今後の航空機騒音軽減対策に役立てば幸いに存じます。

令和3年2月

千葉県環境生活部大気保全課長 熱田みどり

# 目 次

## 第 1 航空機騒音測定について

1	測定目的	1
2	実施主体	1
3	測定期間	1
4	測定地点	1
5	測定方法	
( 1 )	測定方法及び使用機器	1
( 2 )	集計及びデータ処理の方法	4
6	測定結果及びその評価	
( 1 )	測定結果	5
( 2 )	環境基準達成状況	5
( 3 )	月間 $L_{den}$	8
( 4 )	騒音コンター	9
7	測定結果の経年変化	
( 1 )	年間 $L_{den}$ の経年変化	10
( 2 )	最大騒音レベルの経年変化	10
( 3 )	W E C P N L の経年変化	10

## 第 2 資 料

1	月間 $L_{den}$ (令和元年度)	16
2	測定結果の経年変化	18

## 第3 参考資料

1 成田国際空港の概要	
(1) 空港の概要	20
(2) 飛行コース概略図	22
(3) 総発着回数の年度別推移	26
(4) 機種別離着陸比率集計表	27
(5) 成田国際空港(旧新東京国際空港)の経緯	28
2 関係告示及び通知(航空機騒音に係る環境基準)	
(1) 航空機騒音に係る環境基準について(告示)	34
(2) 航空機騒音に係る環境基準の一部改正について(通知)	36
(3) 航空機騒音に係る環境基準の地域類型ごとの地域の指定 (千葉県告示)	38
(4) 航空機騒音に係る環境基準の類型を当てはめる地域の指定に係る 法定受託事務の処理基準について(通知)	39
3 航空機騒音に係る関係機関に対する要請等	41
4 成田国際空港周辺における環境対策の体系	47
5 用語の説明	48

測定結果の詳細については、公益財団法人成田空港周辺地域共生財団が公表している  
次の資料もあわせて御覧ください。

「令和元年度 成田国際空港周辺航空機騒音測定結果(年報)」

<http://www.nrt.or.jp/sokutei/nenpoumenu.html>

# 第 1 航空機騒音測定について



## 1 測定目的

成田国際空港周辺地域においては、成田市、富里市、山武市、栄町、多古町、芝山町及び横芝光町の全域(工業専用地域及び空港の敷地を除く。)に航空機騒音に係る環境基準の地域類型を指定しており、航空機騒音の状況と環境基準の達成状況を把握することを目的として、固定測定局による騒音常時監視を実施している。

## 2 実施主体

県、成田市、山武市、香取郡多古町及び山武郡芝山町並びに成田国際空港株式会社(以下「NAA」という。)が県内90か所に固定測定局を設置している。機関別の固定測定局設置数の推移を表1に示す。

表1 機関別の固定測定局設置数の推移

機関名	H27年度 (2015)	H28年度 (2016)	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)
千葉県	23	23	23	23	23
成田市	25	25	25	25	26
芝山町	9	9	9	9	9
山武市	1	1	1	1	1
多古町	1	1	1	1	1
NAA	30	30	30	30	30
合計	89	89	89	89	90

## 3 測定期間

平成31(2019)年4月1日から令和2(2020)年3月31日まで

## 4 測定地点

令和元年度現在の測定局の区分及び位置並びに環境基準の地域類型を図1に示す。また、測定局一覧を表2に示す。

## 5 測定方法

### (1) 測定方法及び使用機器

測定は、「航空機騒音測定・評価マニュアル」(平成27年10月環境省)に基づいて実施した。

測定局には、局ごとに設定した騒音レベルのしきい値及び継続時間の条件を満たした騒音を航空機騒音として識別し、そのデータを自動的に記録する装置が備えられている。各測定局における使用機器及びその設定値を表2に示す。

図1 固定測定局の区分及び位置並びに環境基準の地域類型

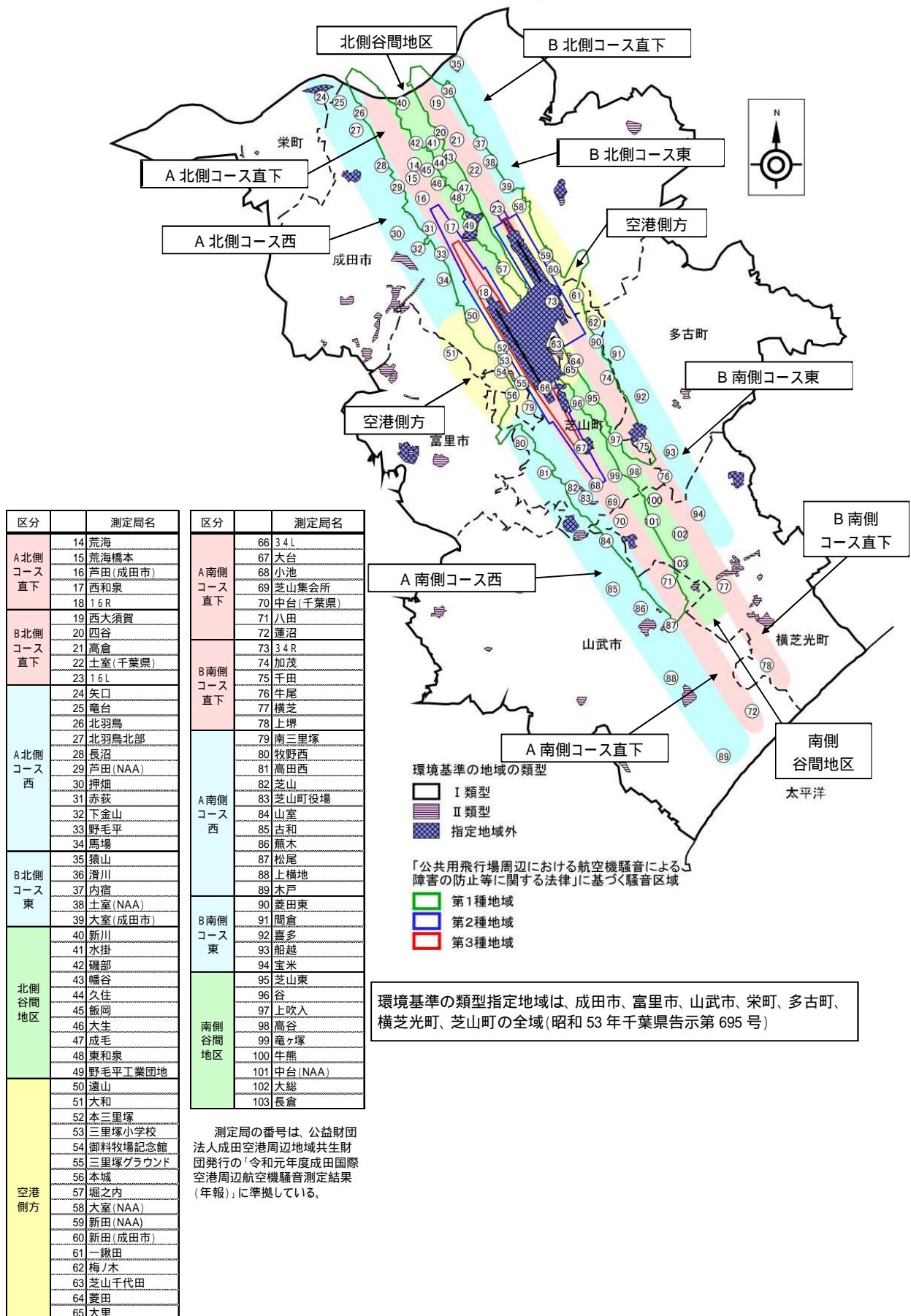


表2 固定測定局一覽

(空港北側)

区分		所在地	ID	測定局名	測定地点名称	自動測定装置 <sup>2</sup>	しきい値 (dB)	継続時間 (秒)	環境基準 類型 <sup>3</sup>	騒音 区域 <sup>4</sup>	管理者
A北側 コース 直下	14	成田市	NK05	荒海	荒海共同利用施設	NA37	変動+10	9	類型	第1種	NAA
	15	成田市	NN23	荒海橋本	荒海共生プラザ	DL100	固定60	10	類型	第1種	成田市
	16	成田市	NN03	芦田(成田市)	成田市芦田	DL100S	固定58	10	類型	第1種	成田市
	17	成田市	NO02	西和泉	PGM総成ゴルフクラブ	DL100S	固定65	12	類型	第2種	千葉県
	18	成田市	NK01	16R	A滑走路北端	NA37	変動+10	2	指定地域外	空港内	NAA
	19	成田市	NK18	西大須賀	西大須賀共同利用施設	NA37	変動+10	5	類型	第1種	NAA
B北側 コース 直下	20	成田市	NC21	四谷	四谷青年館	DL100S	変動+6	8	類型	第1種	千葉県
	21	成田市	NC22	高倉	高倉高度コース局	DL100S	変動+6	10	類型	第1種	千葉県
	22	成田市	NC23	土室(千葉県)	久住パークゴルフ場	DL100S	変動+6	10	類型	第1種	千葉県
	23	成田市	NK22	16L	北総VOR/DME用地内	NA37	変動+10	4	類型	第2種	NAA
A北側 コース 西	24	栄町	NC15	矢口	矢口集会所	DL100S	変動+5	14	類型	無指定	千葉県
	25	成田市	NN20	竜台	成田市竜台	DL90R	変動+6	20	類型	無指定	成田市
	26	成田市	NN13	北羽鳥	成田市北羽鳥	DL100S	変動+6	13	類型	無指定	成田市
	27	成田市	NN01	北羽鳥北部	北羽鳥北部共同利用施設	DL100S	変動+6	30	類型	無指定	成田市
	28	成田市	NN12	長沼	成田市長沼	DL100S	変動+6	20	類型	無指定	成田市
	29	成田市	NK04	芦田(NAA)	芦田排水機場	NA37	変動+10	8	類型	無指定	NAA
	30	成田市	NC16	押畑	押畑親水広場予定地	DL100S	変動+8	14	類型	無指定	千葉県
	31	成田市	NN04	赤荻	赤荻共同利用施設	DL100S	固定60	8	類型	第1種	成田市
	32	成田市	NN14	下金山	成田市下金山	DL100S	変動+10	18	類型	無指定	成田市
	33	成田市	NN05	野毛平	野毛平共同利用施設	DL100S	変動+8	20	類型	第1種	成田市
B北側 コース 東	34	成田市	NN18	馬場	馬場共同利用施設	DL100S	変動+10	18	類型	無指定	成田市
	35	成田市	NM01	猿山	成田市役所下総支所	DL100S	変動+4	20	類型	無指定	成田市
	36	成田市	NC20	滑川	滑河運動施設	DL100S	変動+5	14	類型	第1種	千葉県
	37	成田市	NK19	内宿	内宿共同利用施設	NA37	変動+10	10	類型	第1種	NAA
	38	成田市	NK20	土室(NAA)	成田市土室	NA37	変動+10	10	類型	第1種	NAA
	39	成田市	NN22	大室(成田市)	成田市大室	DL100S	変動+8	18	類型	第1種	成田市
北側 谷間 地区	40	成田市	NO07	新川	新川共同利用施設	DL100S	変動+7	14	類型	無指定	千葉県
	41	成田市	NN19	水掛	水掛共同利用施設	DL90R	固定55	8	類型	無指定	成田市
	42	成田市	NN02	磯部	磯部共同利用施設	DL100S	固定60	13	類型	第1種	成田市
	43	成田市	NN09	幡谷	幡谷共同利用施設	DL100S	固定57	8	類型	無指定	成田市
	44	成田市	NK06	久住	久住小学校	NA37	変動+10	6	類型	無指定	NAA
	45	成田市	NK03	飯岡	飯岡共同利用施設	NA37	変動+10	8	類型	第1種	NAA
	46	成田市	NN21	大生	大生共同利用施設	DL100	固定60	10	類型	第1種	成田市
	47	成田市	NN10	成毛	成毛共同利用施設	DL100	変動+8	15	類型	無指定	成田市
	48	成田市	NN24	東和泉	成田市東和泉	DL100S	変動+8	18	類型	第1種	成田市
	49	成田市	NN11	野毛平工業団地	野毛平工業団地管理事務所	DL100S	変動+8	15	指定地域外	第1種	成田市

(空港側方)

区分		所在地	ID	測定局名	測定地点名称	自動測定装置 <sup>2</sup>	しきい値 (dB)	継続時間 (秒)	環境基準 類型 <sup>3</sup>	騒音 区域 <sup>4</sup>	管理者
空港 側方	50	成田市	NN15	遠山	遠山小学校	DL100S	変動+8	8	類型	第1種	成田市
	51	富里市	NC17	大和	大和緑ヶ丘自治会館	DL100S	固定57	8	類型	無指定	千葉県
	52	成田市	NN07	本三里塚	本三里塚共同利用施設	DL100S	固定60	7	類型	第1種	成田市
	53	成田市	NK36	三里塚小学校	三里塚小学校	NA37	変動+10	8	類型	第1種	NAA
	54	成田市	NN16	御料牧場記念館	三里塚御料牧場記念館	DL100S	固定58	10	類型	無指定	成田市
	55	成田市	NK37	三里塚グラウンド	三里塚NAA施設用地内	NA37	変動+10	5	類型	第1種	NAA
	56	成田市	NN17	本城	成田市本城	DL100S	変動+6	20	類型	無指定	成田市
	57	成田市	NN06	堀之内	堀之内共同利用施設	DL100S	変動+6	20	類型	第1種	成田市
	58	成田市	NK21	大室(NAA)	竜面共同利用施設	NA37	変動+10	10	類型	第1種	NAA
	59	成田市	NK23	新田(NAA)	成田市新田	NA37	変動+10	5	類型	第1種	NAA
	60	成田市	NT11	新田(成田市)	成田市新田	DL90R	変動+7	5	類型	第1種	成田市
	61	多古町	NK34	一鍬田	一鍬田共同利用施設	NA37	変動+10	5	類型	第1種	NAA
	62	芝山町	NC24	梅ノ木	菱田梅ノ木集会所	DL100S	変動+6	8	類型	無指定	千葉県
	63	芝山町	NK38	芝山千代田	芝山町香山新田	NA37	変動+10	10	類型	無指定	NAA
	64	芝山町	NS09	菱田	菱田共同利用施設	DL100S	変動+6	20	類型	第1種	芝山町
	65	芝山町	NS14	大里	住母家集会所	DL100S	変動+6	20	類型	無指定	芝山町

(空港南側)

区分	所在地	ID <sup>1</sup>	測定局名	測定地点名称	自動測定装置 <sup>2</sup>	しきい値 (dB)	継続時間 (秒)	環境基準類型 <sup>3</sup>	騒音区域 <sup>4</sup>	管理者
A南側コース直下	66 芝山町	NK09	3 4 L	A滑走路南端	NA37	変動+10	2	指定地域外	空港内	NAA
	67 芝山町	NO03	大台	芝山第二工業団地管理事務所	DL100S	固定65	10	指定地域外	第3種	千葉県
	68 芝山町	NO04	小池	小池共同利用施設	DL100S	固定65	12	類型	第1種	千葉県
	69 芝山町	NS04	芝山集会所	芝山集会所	DL100S	変動+8	25	類型	第1種	芝山町
	70 横芝光町	NC05	中台 (千葉県)	中台共同利用施設	DL100S	固定65	10	類型	第1種	千葉県
	71 山武市	NO06	八田	八田共同利用施設	DL100S	変動+8	15	類型	第1種	千葉県
B南側コース直下	72 山武市	NK16	蓮沼	蓮沼保健センター	NA37	変動+10	12	類型	無指定	NAA
	73 成田市	NK35	3 4 R	B滑走路南側航空保安施設用地	NA37	変動+10	4	指定地域外	空港内	NAA
	74 芝山町	NC25	加茂	加茂公民館	DL100S	変動+5	14	類型	第1種	千葉県
	75 多古町	NK28	千田	多古町千田	NA37	変動+10	8	類型	第1種	NAA
	76 多古町	NK29	牛尾	牛尾共同利用施設	NA37	変動+10	10	類型	無指定	NAA
	77 横芝光町	NK30	横芝	横芝小学校	NA37	変動+10	5	類型	無指定	NAA
A南側コース西	78 横芝光町	NK31	上堺	上堺小学校	NA37	変動+10	5	類型	無指定	NAA
	79 成田市	NN08	南三里塚	南三里塚共同利用施設	DL100S	固定58	10	類型	第1種	成田市
	80 芝山町	NS13	牧野西	牧野西部公民館	DL100S	変動+6	20	類型	無指定	芝山町
	81 芝山町	NS12	高田西	高田西部公民館	DL100S	変動+6	20	類型	無指定	芝山町
	82 芝山町	NK11	芝山	芝山小学校	NA37	変動+10	10	類型	第1種	NAA
	83 芝山町	NS01	芝山町役場	芝山町役場	DL100S	変動+6	25	類型	第1種	芝山町
	84 山武市	NK12	山室	山武市山室	NA37	変動+10	8	類型	無指定	NAA
	85 山武市	NC18	古和	古和共同利用施設	DL100S	変動+8	14	類型	無指定	千葉県
	86 山武市	NO14	蕪木	蕪木共同利用施設	DL100S	固定54	8	類型	無指定	千葉県
	87 山武市	NK15	松尾	松尾ふれあい館	NA37	変動+10	15	類型	無指定	NAA
B南側コース東	88 山武市	NR01	上横地	上横地揚水場	DL90R	変動+5	18	類型	無指定	山武市
	89 山武市	NC19	木戸	木戸浜共同利用施設	DL100S	変動+6	10	類型	無指定	千葉県
	90 芝山町	NK26	菱田東	菱田東公会堂	NA37	変動+10	10	類型	第1種	NAA
	91 多古町	NT01	間倉	多古町間倉	DL90R	変動+6	8	類型	無指定	多古町
	92 多古町	NK27	喜多	喜多第二共同利用施設	NA37	変動+10	10	類型	無指定	NAA
	93 多古町	NC26	船越	船越粟田公民館	DL100S	変動+4	14	類型	無指定	千葉県
南側谷間地区	94 横芝光町	NC27	宝米	九十九里地域水道企業団光取水場	DL100S	変動+5	20	類型	無指定	千葉県
	95 芝山町	NK10	芝山東	東小学校	NA37	変動+10	10	類型	無指定	NAA
	96 芝山町	NS10	谷	芝山町谷	DL100S	変動+6	14	類型	第1種	芝山町
	97 芝山町	NS02	上吹入	上吹入青年館	DL100S	変動+4	25	類型	無指定	芝山町
	98 芝山町	NS07	高谷	高谷共同利用施設	DL100S	変動+6	20	類型	無指定	芝山町
	99 芝山町	NO10	竜ヶ塚	小池第七集会所	DL100S	固定57	12	類型	第1種	千葉県
	100 横芝光町	NO11	牛熊	牛熊共同利用施設	DL100S	固定54	7	類型	無指定	千葉県
	101 横芝光町	NK13	中台 (NAA)	横芝光町中台	NA37	変動+10	15	類型	第1種	NAA
	102 横芝光町	NK14	大総	大総小学校	NA37	変動+10	15	類型	無指定	NAA
	103 横芝光町	NO13	長倉	長倉共同利用施設	DL100S	変動+8	14	類型	無指定	千葉県

1 IDは、共生財団発行の年報に記載された固定測定局のIDである。

2 自動測定装置欄の記号は機器の型式である。  
(DL90R、DL100、DL100S: 日本音響エンジニアリング(株)製、NA37: リオン(株)製)

3 環境基準の類型は、「航空機騒音に係る環境基準の地域類型ごとの地域の指定」(昭和53年千葉県告示第695号)に定める。  
(環境基準値 類型:  $L_{den} 57$  デシベル以下 類型:  $L_{den} 62$  デシベル以下)

4 騒音区域は「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づき空港設置者による対策が講じられる区域。  
(第1種区域: 住宅の防音工事に対する助成、第2種区域: 区域外への移転補償、土地の買入れ、第3種区域: 緩衝緑地帯の整備)

## (2) 集計及びデータ処理の方法

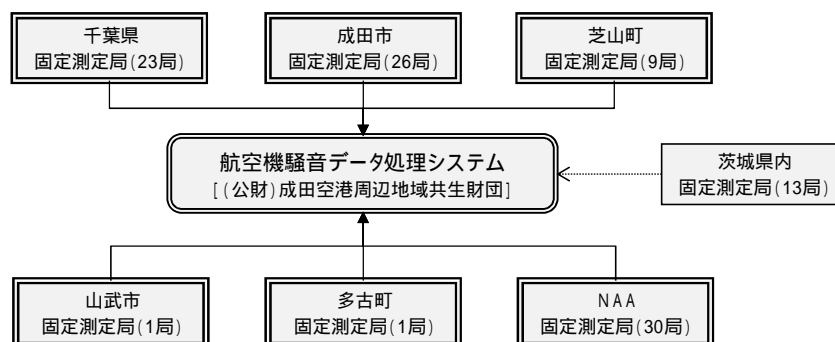
各測定局で測定したデータは、公益財団法人成田空港周辺地域共生財団(以下「共生財団」という。)の航空機騒音集計処理システム(以下「共生財団システム」という。)により、一元的に処理している。

各測定局の測定データは、1日1回、公衆通信回線により共生財団システムに収集され、共生財団による集計処理を経て、各測定局管理者に日報及び月報(速報値)として提供されている。

年間の測定結果については、共生財団が設置する「航空機騒音監視評価委員会」（学識者や関係自治体、NAA等で構成）において評価、確定された後、公表されている。測定局と共生財団システムの構成を図2に示す。

図2 測定局と共生財団システムの構成

成田空港周辺地域における航空機騒音測定体制の概略



## 6 測定結果及びその評価

### (1) 測定結果

各測定局における測定結果を表4に示す。

令和元年度と平成30年度の結果を比較すると、比較対象とした87局のうち52局で変化がなく、17局で増加し、18局で減少した。

### (2) 環境基準達成状況

環境基準が適用される固定測定局84局のうち、令和元年度に環境基準を達成したのは54局であり、達成率は64%であった。

環境基準達成状況の推移は表3のとおりである。

なお、航空機騒音に係る環境基準は、**類型地域**（主に住宅の用に供される地域）で  $L_{den} 57 \text{ dB}$ 、**類型地域**（主に商業、工業の用に供される地域）で  $L_{den} 62 \text{ dB}$  である。

表3 航空機騒音に係る環境基準達成状況の推移

年度	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
環境基準適用局数	83	83	83	84	84
達成局数	53	48	51	53	54
達成率(%)	64	58	61	63	64
指定地域外等局数	6	6	6	5	6

R1の指定地域外等局内訳：空港敷地内3局、工業専用地域内2局、参考値1局

表4 成田国際空港周辺固定測定局測定結果一覧<sup>1</sup> (令和元年度)

(空港北側)

区分	局	所在地	測定局名	環境基準 の類型 <sup>2</sup>	L <sub>den</sub> (dB)					騒音レベル(dB)		発生回数 年平均 回/日	参考 年間 WECPNL	騒音 区域 <sup>4</sup>	測定 機関
					R1 年平均	達成 状況 <sup>3</sup>	日 最大	H30 年平均	R1とH30 の差	年平均	年最大				
A北側 コース 直下	14	成田市	荒海	類型	61	×	64.9	61	0	73.7	93.6	204	72.5	第1種	NAA
	15	成田市	荒海橋本	類型	62	×	65.6	61	1	74.4	92.6	202	73.0	第1種	成田市
	16	成田市	芦田(成田市)	類型	62	×	65.8	61	1	75.6	92.9	208	74.3	第1種	成田市
	17	成田市	西和泉	類型	63	×	68.0	63	0	77.2	95.6	196	75.7	第2種	千葉県
	18	成田市	16R	指定地域外	70	-	75.3	70	0	87.0	104.4	223	86.3	空港内	NAA
B北側 コース 直下	19	成田市	西大須賀	類型	60	×	65.2	60	0	72.7	86.9	257	72.5	第1種	NAA
	20	成田市	四谷	類型	58	×	62.2	59	-1	69.0	85.4	309	69.5	第1種	千葉県
	21	成田市	高倉	類型	62	×	67.7	63	-1	76.2	91.5	294	76.5	第1種	千葉県
	22	成田市	土室(千葉県)	類型	66	×	71.3	66	0	80.4	98.7	288	80.7	第1種	千葉県
	23	成田市	16L	類型	70	×	75.0	70	0	85.1	104.1	348	86.4	第2種	NAA
A北側 コース 西	24	栄町	矢口	類型	50		54.9	49	1	63.0	75.6	167	60.9	無指定	千葉県
	25	成田市	竜台	類型	54		58.9	53	1	66.3	80.5	179	64.3	無指定	成田市
	26	成田市	北羽鳥	類型	57		61.3	56	1	69.1	84.8	201	67.7	無指定	成田市
	27	成田市	北羽鳥北部	類型	56		61.0	56	0	67.9	82.1	165	65.7	無指定	成田市
	28	成田市	長沼	類型	57		61.5	56	1	68.8	84.4	199	67.3	無指定	成田市
	29	成田市	芦田(NAA)	類型	57		62.8	56	1	68.7	85.6	203	67.3	無指定	NAA
	30	成田市	押畑	類型	51		56.1	50	1	64.0	77.6	138	61.2	無指定	千葉県
	31	成田市	赤荻	類型	60	×	64.4	59	1	71.9	88.1	198	70.4	第1種	成田市
	32	成田市	下金山	類型	52		58.1	51	1	67.8	80.7	127	64.4	無指定	成田市
	33	成田市	野毛平	類型	60	×	64.9	59	1	73.1	90.8	199	71.6	第1種	成田市
B北側 コース 東	34	成田市	馬場	類型	55		60.7	54	1	69.2	82.4	165	67.0	無指定	成田市
	35	成田市	猿山	類型	48		52.9	49	-1	61.1	78.4	156	59.3	無指定	成田市
	36	成田市	滑川	類型	55		59.8	56	-1	67.3	83.5	239	66.7	第1種	千葉県
	37	成田市	内宿	類型	53		57.3	54	-1	64.5	81.7	207	63.7	第1種	NAA
	38	成田市	土室(NAA)	類型	55		58.7	55	0	66.1	82.2	231	65.7	第1種	NAA
北側谷 間地区	39	成田市	大室(成田市)	類型	57		62.2	57	0	67.5	88.8	267	67.8	第1種	成田市
	40	成田市	新川	類型	56		60.1	56	0	66.6	81.4	267	66.6	無指定	千葉県
	41	成田市	水掛	類型	56		60.3	56	0	66.4	81.0	251	66.2	無指定	成田市
	42	成田市	磯部	類型	57		62.0	57	0	70.0	83.9	207	68.8	第1種	成田市
	43	成田市	幡谷	類型	56		60.2	56	0	66.4	80.6	285	66.7	無指定	成田市
	44	成田市	久住	類型	57		60.8	57	0	66.5	80.5	296	67.1	無指定	NAA
	45	成田市	飯岡	類型	59	×	63.4	59	0	70.8	84.7	245	70.5	第1種	NAA
	46	成田市	大生	類型	60	×	64.2	59	1	72.1	86.8	210	70.9	第1種	成田市
	47	成田市	成毛	類型	56		60.5	56	0	67.3	82.9	207	66.4	無指定	成田市
	48	成田市	東和泉	類型	58	×	62.8	- <sup>6</sup>	- <sup>6</sup>	69.4	85.4	252	69.2	第1種	成田市
49	成田市	野毛平工業団地	指定地域外	60	-	64.5	59	1	72.1	85.2	189	70.7	第1種	成田市	

(空港側方)

区分	局	所在地	測定局名	環境基準 の類型 <sup>2</sup>	L <sub>den</sub> (dB)					騒音レベル(dB)		発生回数 年平均 回/日	参考 年間 WECPNL	騒音 区域 <sup>4</sup>	測定 機関
					R1 年平均	達成 状況 <sup>3</sup>	日 最大	H30 年平均	R1とH30 の差	年平均	年最大				
空港 側方	50	成田市	遠山	類型	58	×	63.6	58	0	70.7	87.3	261	70.7	第1種	成田市
	51	富里市	大和	類型	44		54.6	45	-1	64.7	78.2	28	56.1	無指定	千葉県
	52	成田市	本三里塚	類型	58	×	64.5	58	0	72.4	88.9	231	71.7	第1種	成田市
	53	成田市	三里塚小学校	類型	59	×	65.0	59	0	71.8	88.1	281	72.1	第1種	NAA
	54	成田市	御料牧場記念館	類型	56		62.1	56	0	68.9	87.2	200	67.8	無指定	成田市
	55	成田市	三里塚グラウンド	類型	63	×	68.4	64	-1	75.1	91.5	338	75.9	第1種	NAA
	56	成田市	本城	類型	56		63.2	57	-1	69.0	85.4	203	68.2	無指定	成田市
	57	成田市	堀之内	類型	58	×	63.9	58	0	70.4	88.2	209	69.6	第1種	成田市
	58	成田市	大室(NAA)	類型	56		61.0	57	-1	68.0	87.2	249	68.2	第1種	NAA
	59	成田市	新田(NAA)	類型	56		62.9	56	0	69.1	89.5	229	69.1	第1種	NAA
	60	成田市	新田(成田市)	類型	57		64.8	58	-1	69.9	89.7	255	70.5	第1種	成田市
	61	多古町	一畝田	類型	53		57.3	53	0	64.4	84.2	191	64.3	第1種	NAA
	62	芝山町	梅ノ木	類型	53		57.8	54	-1	64.4	83.8	230	64.6	無指定	千葉県
	63	芝山町	芝山千代田	類型	56		61.1	56	0	66.0	83.7	262	66.5	無指定	NAA
	64	芝山町	菱田	類型	59	×	61.5	59	0	69.8	84.7	260	70.2	第1種	芝山町
65	芝山町	大里	類型	56		59.8	- <sup>6</sup>	- <sup>6</sup>	66.9	81.6	294	67.6	無指定	芝山町	

( 空港南側 )

区分	局	所在地	測定局名	環境基準 の類型 <sup>2</sup>	L <sub>den</sub> (dB)					騒音レベル (dB)		発生回数 年平均 回/日	参考 年間 WECPNL	騒音 区域 <sup>4</sup>	測定 機関
					R1 年平均	達成 状況 <sup>3</sup>	日 最大	H30 年平均	R1とH30 の差	年平均	年最大				
A南側 コース 直下	66	芝山町	34L	指定地域外	72	-	77.1	72	0	89.4	105.7	197	87.8	空港内	NAA
	67	芝山町	大台	指定地域外	65	-	69.7	65	0	80.8	97.2	175	78.8	第3種	千葉県
	68	芝山町	小池	類型	62	x	67.2	62	0	75.7	89.4	167	73.5	第1種	千葉県
	69	芝山町	芝山集会所	類型	60	x	65.6	60	0	74.5	89.5	148	72.0	第1種	芝山町
	70	横芝光町	中台 (千葉県)	類型	61	x	65.1	61	0	74.4	88.1	161	72.1	第1種	千葉県
	71	山武市	八田	類型	58	x	63.5	58	0	69.5	85.4	251	69.6	第1種	千葉県
B南側 コース 直下	72	山武市	蓮沼	類型	54		58.8	54	0	63.9	80.3	282	64.3	無指定	NAA
	73	成田市	34R	指定地域外	74	-	77.9	74	0	92.5	109.4	198	91.7	空港内	NAA
	74	芝山町	加茂	類型	62	x	65.5	61	1	74.4	88.8	222	73.9	第1種	千葉県
	75	多古町	千田	類型	59	x	63.2	59	0	71.0	84.3	281	71.4	第1種	NAA
	76	多古町	牛尾	類型	58	x	62.1	58	0	69.1	81.6	271	69.4	無指定	NAA
	77	横芝光町	横芝	類型	57		60.1	57	0	67.1	79.3	270	67.1	無指定	NAA
A南側 コース 西	78	横芝光町	上堺	類型	56		59.8	56	0	65.8	79.7	259	66.0	無指定	NAA
	79	成田市	南三里塚	類型	59	x	65.1	60	-1	72.9	87.0	242	72.4	第1種	成田市
	80	芝山町	牧野西	類型	49		54.4	49	0	65.5	78.9	101	61.6	無指定	芝山町
	81	芝山町	高田西	類型	50		55.6	50	0	65.1	78.7	93	60.7	無指定	芝山町
	82	芝山町	芝山	類型	55		60.8	56	-1	67.4	84.6	164	65.3	第1種	NAA
	83	芝山町	芝山町役場	類型	58	x	63.5	58	0	70.8	83.9	155	68.4	第1種	芝山町
	84	山武市	山室	類型	53		59.1	53	0	65.8	79.1	172	63.8	無指定	NAA
	85	山武市	古和	類型	50		57.0	50	0	63.9	79.0	139	61.2	無指定	千葉県
	86	山武市	蕪木	類型	53		59.3	53	0	65.9	78.4	153	63.5	無指定	千葉県
	87	山武市	松尾	類型	56		61.6	56	0	68.4	80.1	152	66.0	無指定	NAA
	88	山武市	上横地	類型	48		54.6	48	0	61.4	78.9	122	57.7	無指定	山武市
B南側 コース 東	89	山武市	木戸	類型	51		57.8	52	-1	64.1	76.5	141	61.3	無指定	千葉県
	90	芝山町	菱田東	類型	56		58.9	56	0	67.4	83.4	217	67.1	第1種	NAA
	91	多古町	間倉	類型	50		55.2	51	-1	63.0	79.2	136	60.7	無指定	多古町
	92	多古町	喜多	類型	53		56.2	52	1	63.6	78.8	239	63.4	無指定	NAA
	93	多古町	船越	類型	53		56.1	53	0	64.2	78.3	225	63.7	無指定	千葉県
	94	横芝光町	宝米	類型	57		60.3	56	1	68.0	82.3	228	67.5	無指定	千葉県
南側谷 間地区	95	芝山町	芝山東	類型	56		59.5	57	-1	66.3	81.0	301	67.2	無指定	NAA
	96	芝山町	谷	類型	59	x	65.5	60	-1	71.5	88.8	288	71.9	第1種	芝山町
	97	芝山町	上吹入	類型	56		61.3	57	-1	66.8	81.6	300	67.4	無指定	芝山町
	98	芝山町	高谷	類型	57		59.8	57	0	67.1	83.3	293	67.7	無指定	芝山町
	99	芝山町	竜ヶ塚	類型	59 <sup>5</sup>	- <sup>5</sup>	63.4	59	- <sup>5</sup>	72.2	86.6	218	71.1	第1種	千葉県
	100	横芝光町	牛熊	類型	56		60.6	56	0	65.7	80.3	314	66.4	無指定	千葉県
	101	横芝光町	中台 (NAA)	類型	56		62.4	56	0	67.7	81.8	234	67.5	第1種	NAA
	102	横芝光町	大総	類型	57		59.8	57	0	66.8	82.8	293	67.6	無指定	NAA
	103	横芝光町	長倉	類型	57		62.3	57	0	67.0	84.8	301	67.8	無指定	千葉県

< 環境基準達成状況 >

環境基準達成局数	54
非達成局数	30
指定地域外等局数	6
計	90
環境基準達成率	64%

- 表中の数値は、公益財団法人成田空港周辺地域共生財団発行の「令和元年度成田国際空港周辺航空機騒音測定結果(年報)」による。
- 環境基準類型は、昭和53年千葉県告示第695号で定めている。  
環境基準 類型 L<sub>den</sub> 57デシベル以下  
環境基準 類型 L<sub>den</sub> 62デシベル以下
- 環境基準達成状況の評価は年平均で行う。
- 騒音区域は「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」に基づき空港設置者による対策が講じられる区域。  
第1種区域:住宅の防音工事に対する助成 L<sub>den</sub> 62デシベル以上  
第2種区域:区域外への移転補償、土地の買入れ L<sub>den</sub> 73デシベル以上  
第3種区域:緩衝緑地帯等の整備 L<sub>den</sub> 76デシベル以上
- 竜ヶ塚局はR1年度の値が参考値(台風被害に伴う欠測期間が環境省マニュアルに基づき(許容限度を超過)のため、環境基準との比較を行わない。また、前年度との比較も行わない。
- 東和泉局はR1年度に新設、大里局はR1年度中に移設(旧大里局は廃局)したため、前年度との比較は行わない。

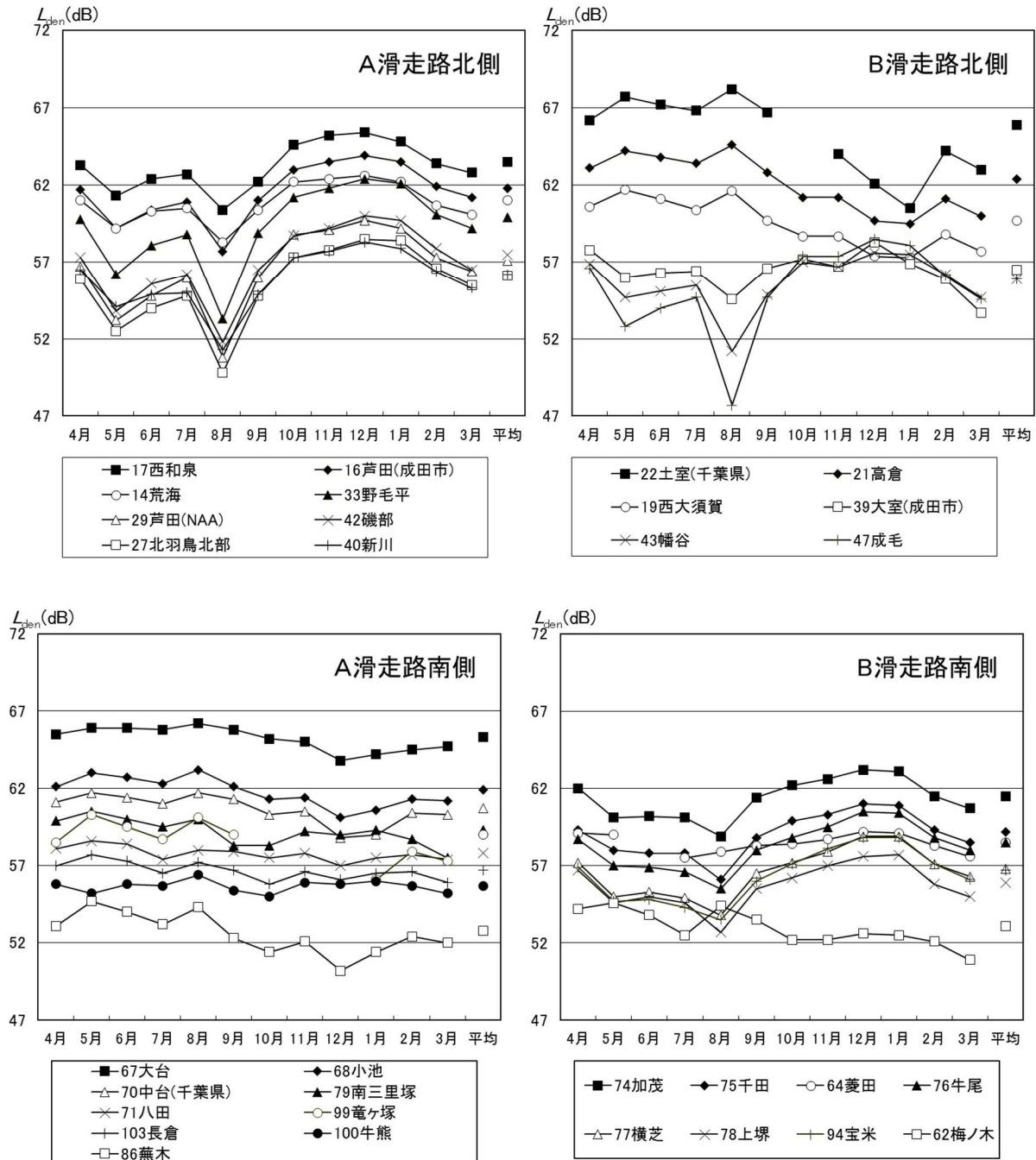
(3) 月間  $L_{den}$

令和元年度の月間  $L_{den}$  の変化を図3に示す。

A滑走路の北側の測定局では冬季に、南側の測定局では夏季に、B滑走路の北側コース直下局では夏季に、南側測定局では冬季に、 $L_{den}$ が高くなる傾向にあった。

また、北側谷間地区及びB滑走路の北側コース東局では夏季に  $L_{den}$  が低くなる傾向にあった。

図3 月間  $L_{den}$



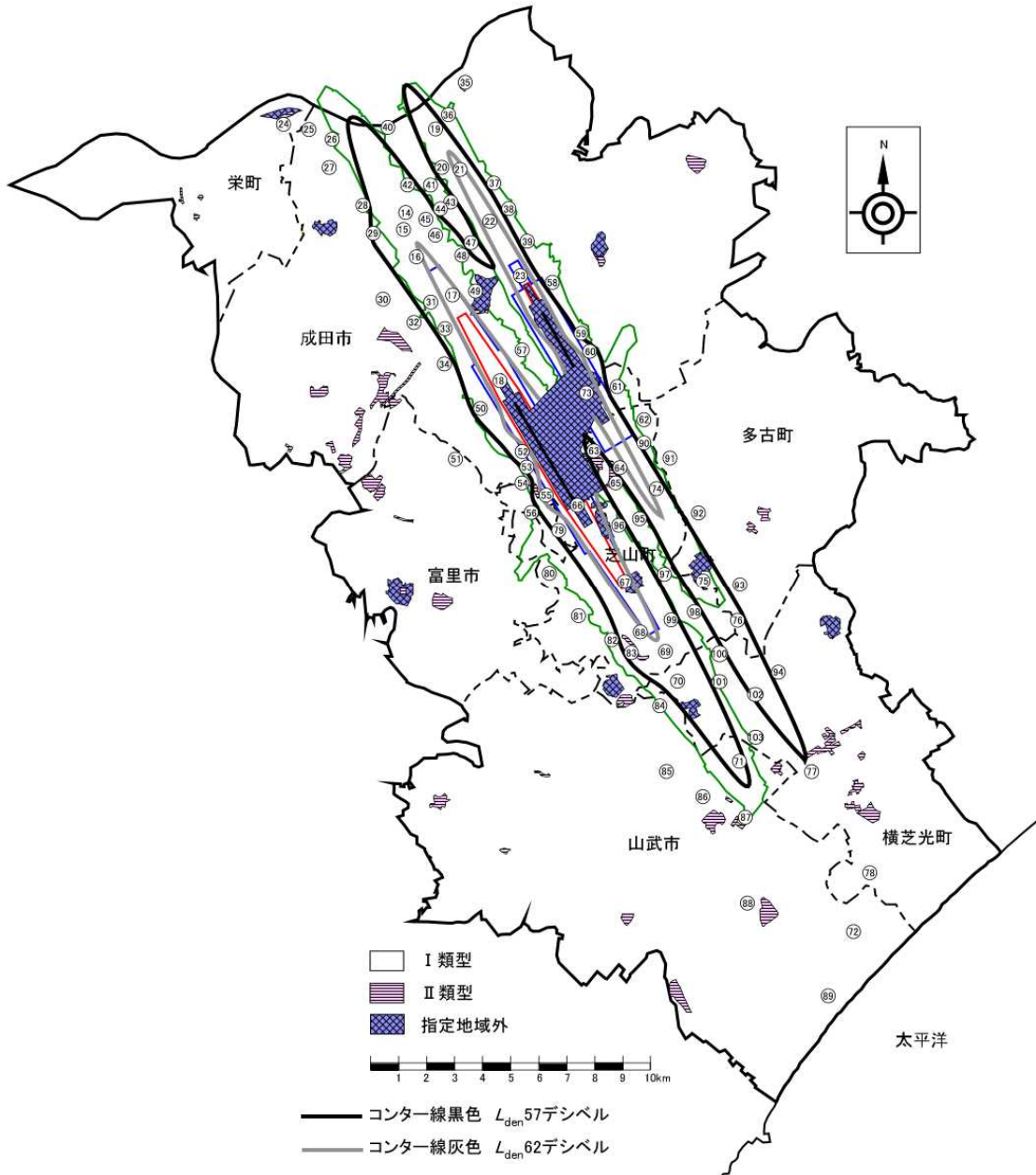
欠測等により月間値が参考値となった結果を含む。なお、月間すべてが欠測となった場合には、結果を表示していない。

(4) 騒音コンター

令和元年度測定結果による航空機騒音(年間  $L_{den}$ )コンターにより、影響範囲を図4に示した。

$L_{den}$  57 dB以上の範囲は、A滑走路では滑走路中心から南南東側約1.4 km、北北西側は約1.4 km、B滑走路では滑走路中心から南南東側約1.7 km、北北西側は約1.1 kmであった。

図4 年間  $L_{den}$  コンター図



## 7 測定結果の経年変化

### (1) 年間 $L_{den}$ の経年変化

環境基準の指標が  $L_{den}$  となった平成 25 年度以降の年間  $L_{den}$  の経年変化を図 5 に示す。

A 滑走路側は、わずかに減少傾向にある。

B 滑走路の北側では横ばい、南側はわずかに増加傾向にある。

### (2) 最大騒音レベルの経年変化

最大騒音レベルの年平均値（パワー平均）の経年変化を図 6 及び図 7 に示す。

A 滑走路の北側では、最大騒音レベルは近年減少傾向にある。

A 滑走路の南側では、平成 24 年 12 月の A 滑走路南側着陸滑走路延長に伴い、平成 25 年度に大台局などの一部の局で最大騒音レベルが増加したが、それ以降は減少傾向にある。

B 滑走路の北側では、平成 21 年 10 月の北側延伸時にコース直下局で最大騒音レベルが増加したが、その後は横ばい傾向にある。

B 滑走路の南側では、横ばい傾向にある。

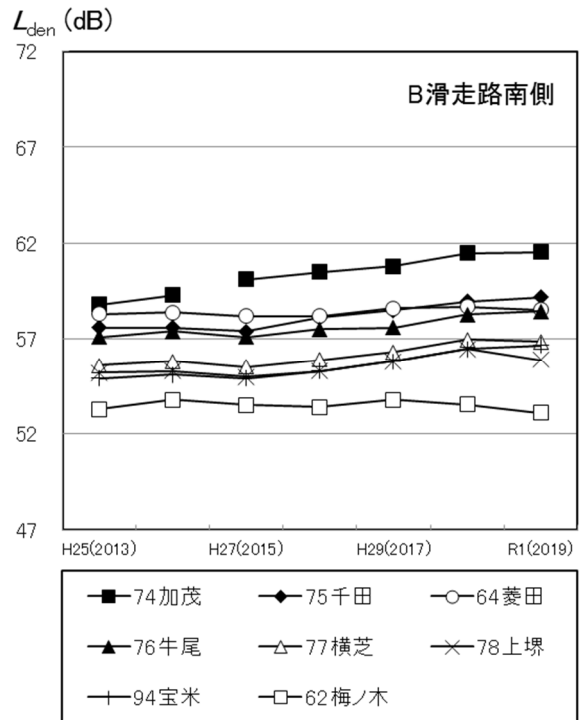
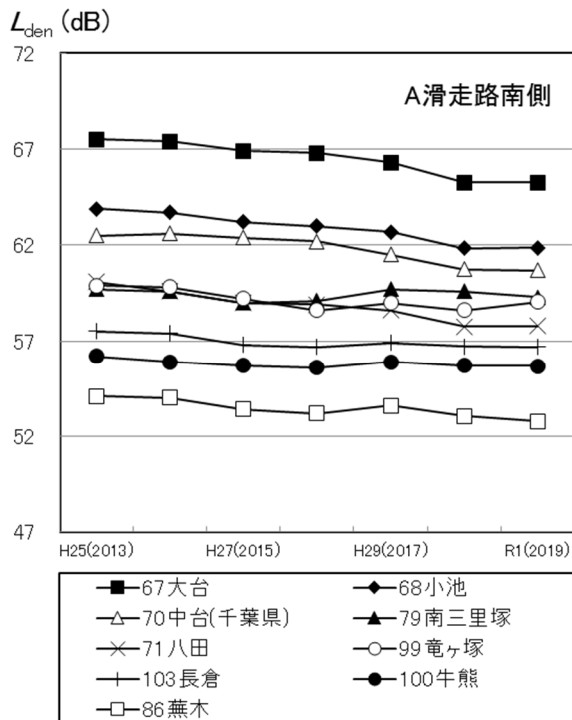
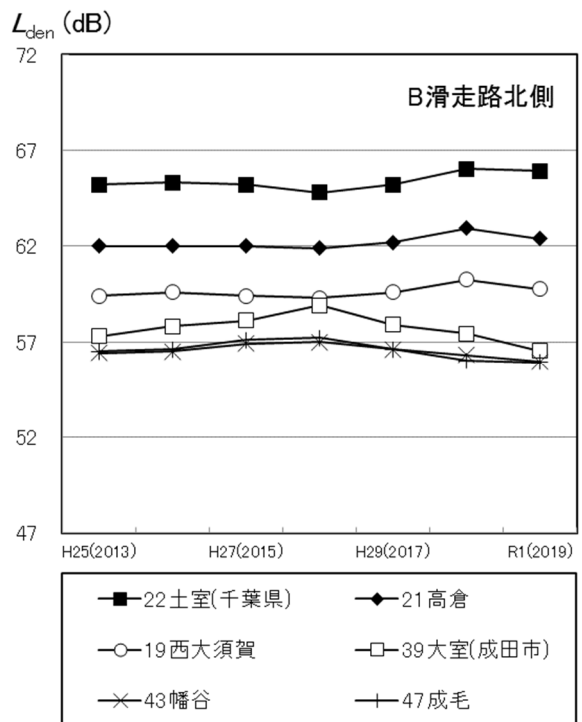
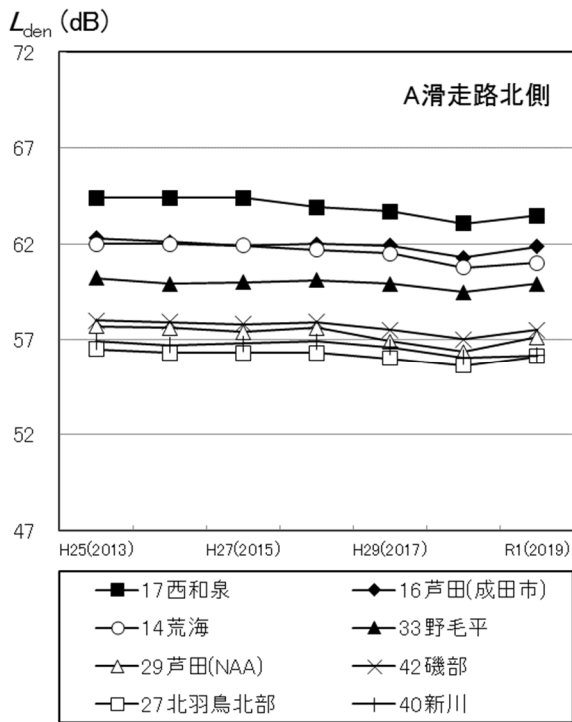
### (3) WECPNL の経年変化

長期経年比較のため、平成 24 年度まで環境基準の指標として採用されていた WECPNL の年間値の経年変化を図 8 及び図 9 に示す。

A 滑走路側では、減少傾向にある。

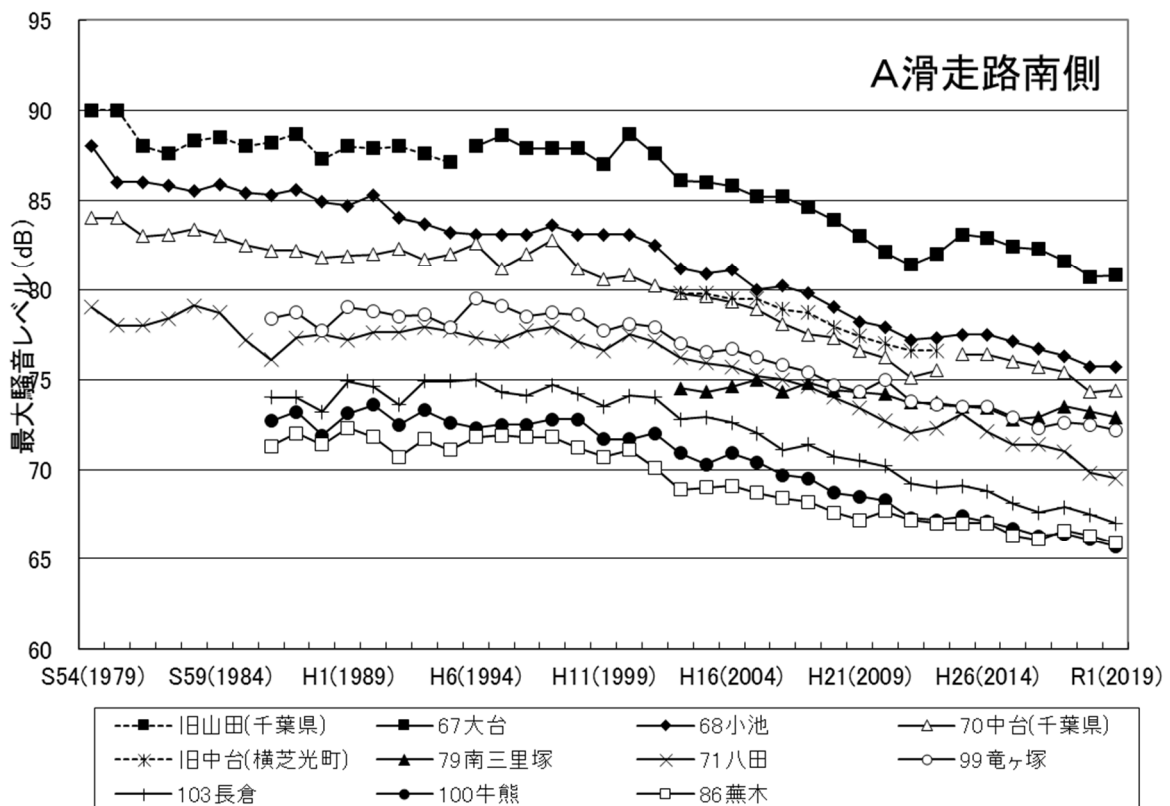
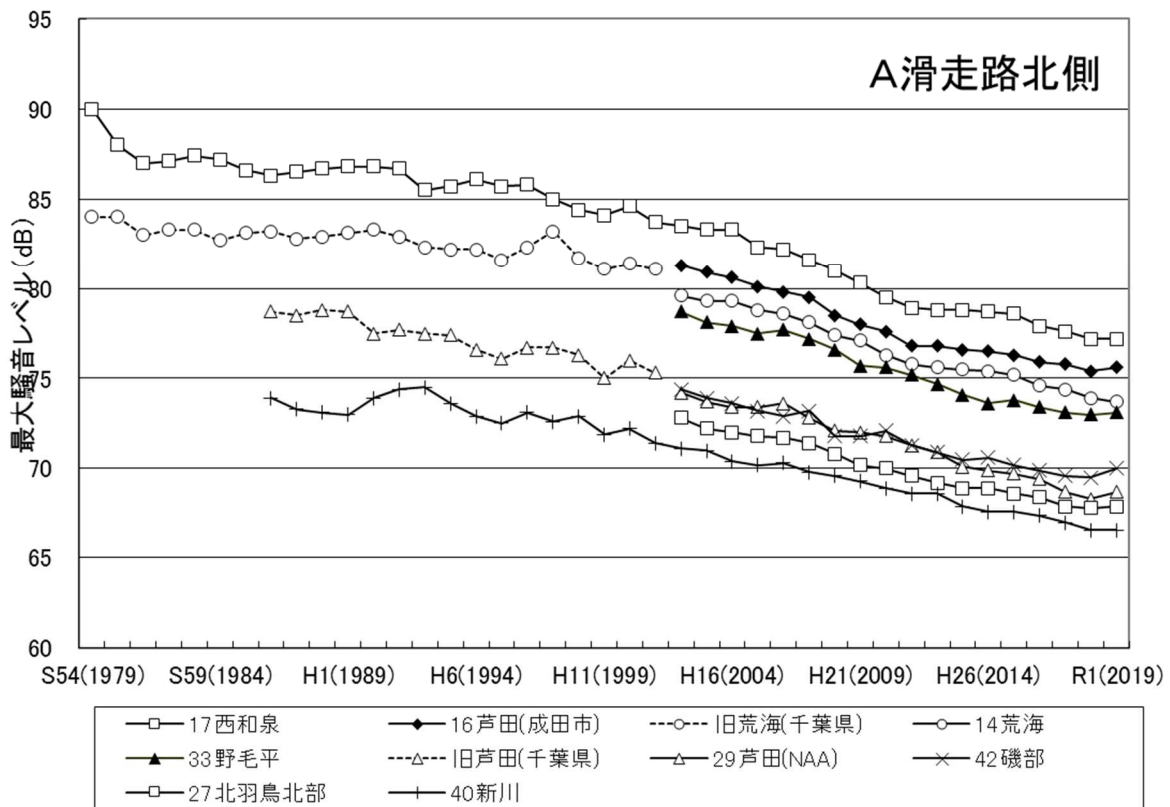
B 滑走路側では、発着枠が拡大された平成 22 年度に増加し、平成 23 年度には一度減少したが、その後はほぼ横ばい傾向にある。

図5 年間  $L_{den}$  経年変化



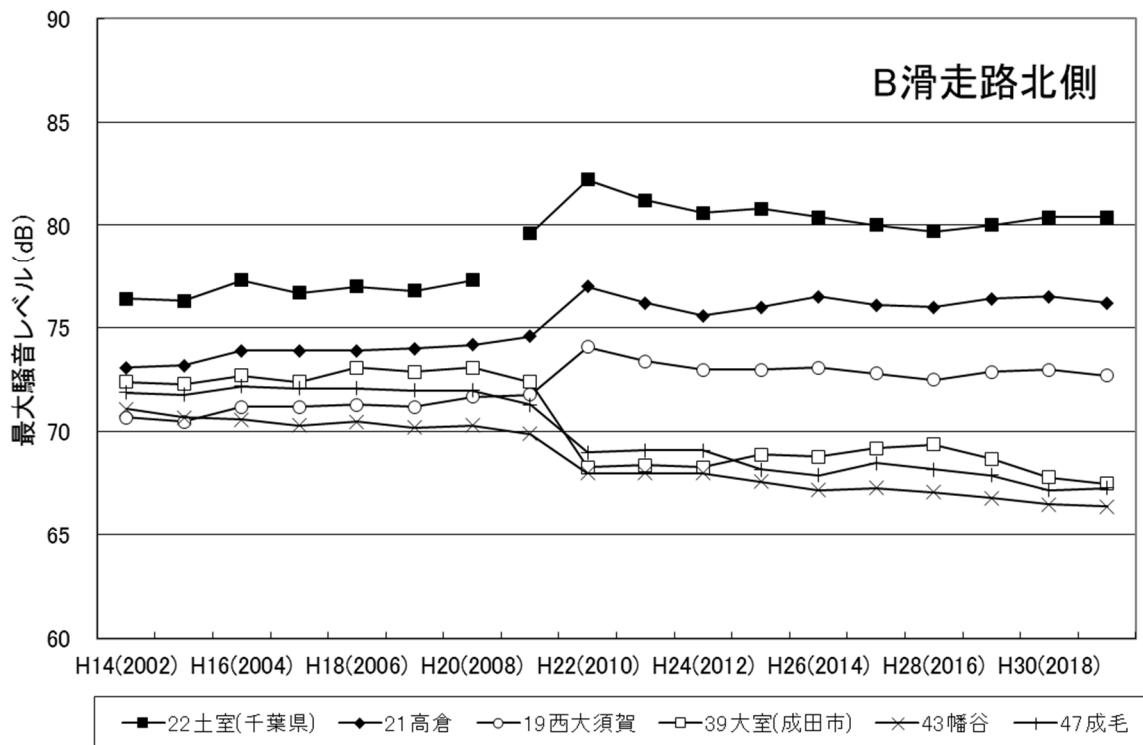
加茂局は、平成27年1月にマイクロホンを移設したため、平成26年度の  $L_{den}$  値は参考値とし、平成27年度から新局扱いとした。

図6 A滑走路周辺 最大騒音レベル(年平均値)の経年変化

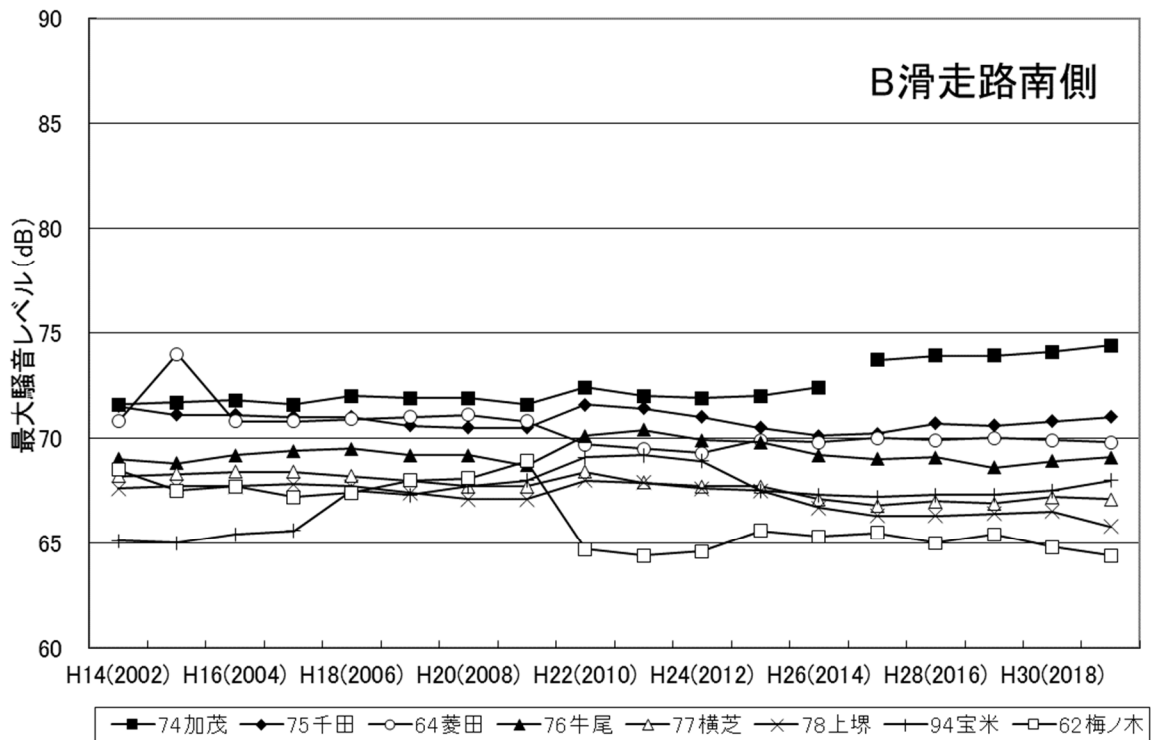


中台局(千葉県)は、平成25年度に旧中台局(横芝光町)の場所に移設した。

図7 B滑走路周辺 最大騒音レベル(年平均値)の経年変化

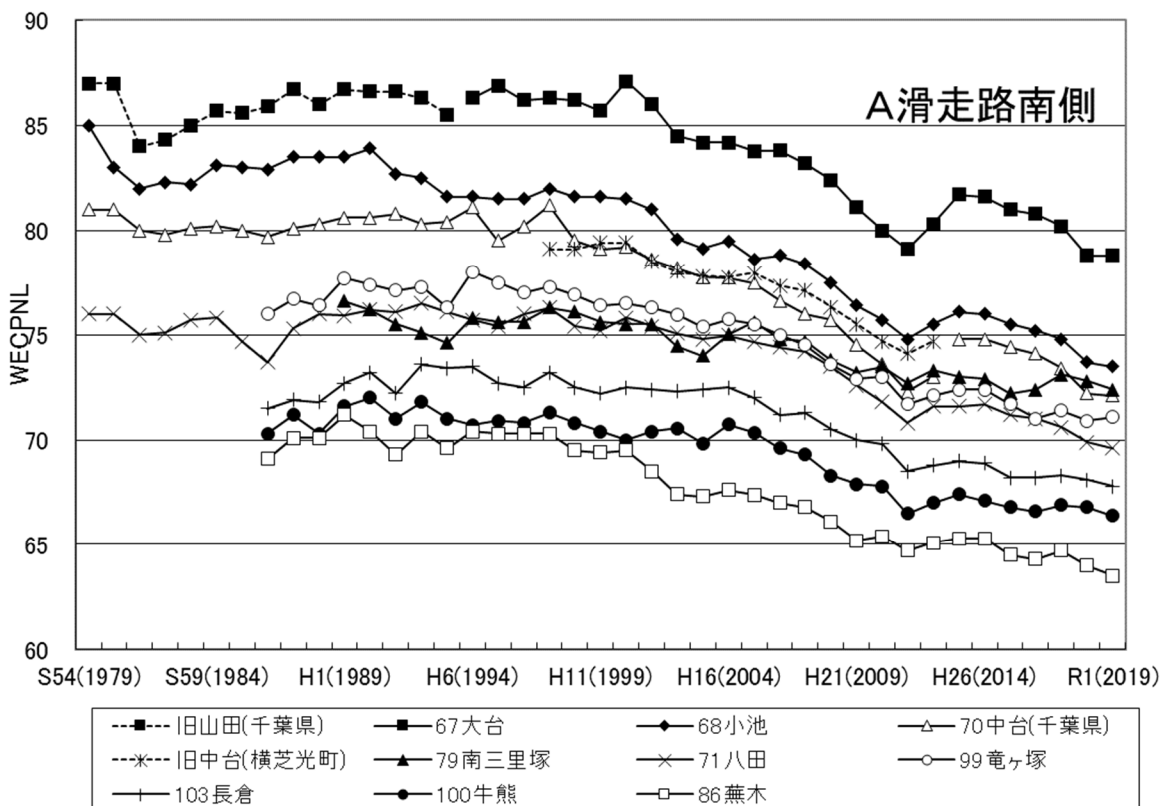
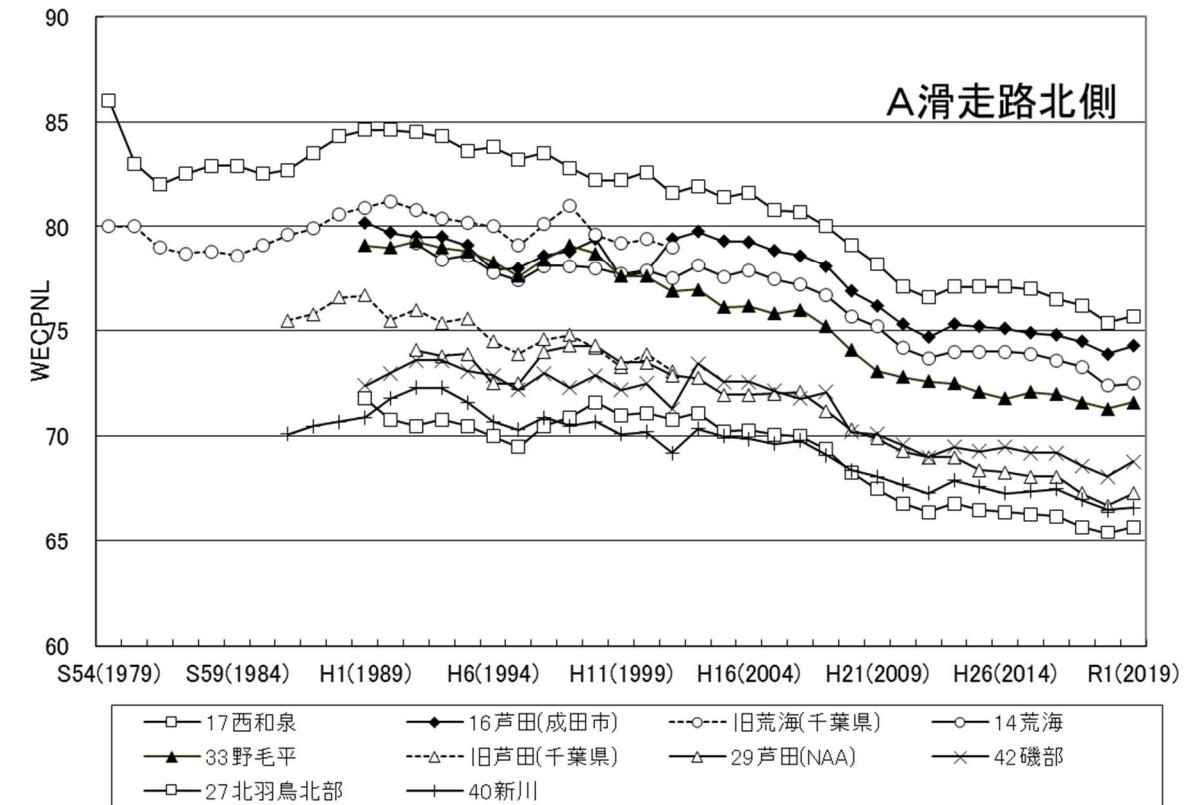


土室局(千葉県)は、平成21年4月に飛行ルート(南東方向)側に170m移設し、新局扱いとした。



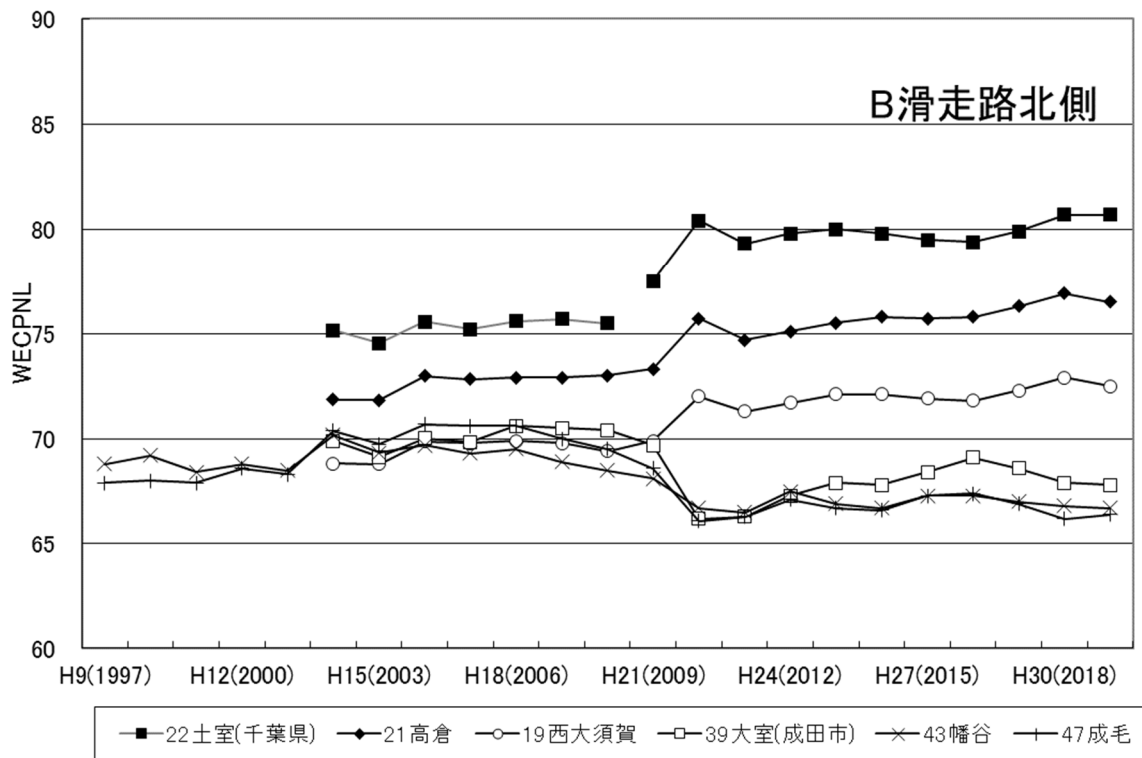
加茂局は、平成27年1月にマイクロホンを移設したため、平成26年度の年平均値は参考値とし、平成27年度から新局扱いとした。

図8 A滑走路周辺 年間WECPNLの経年変化

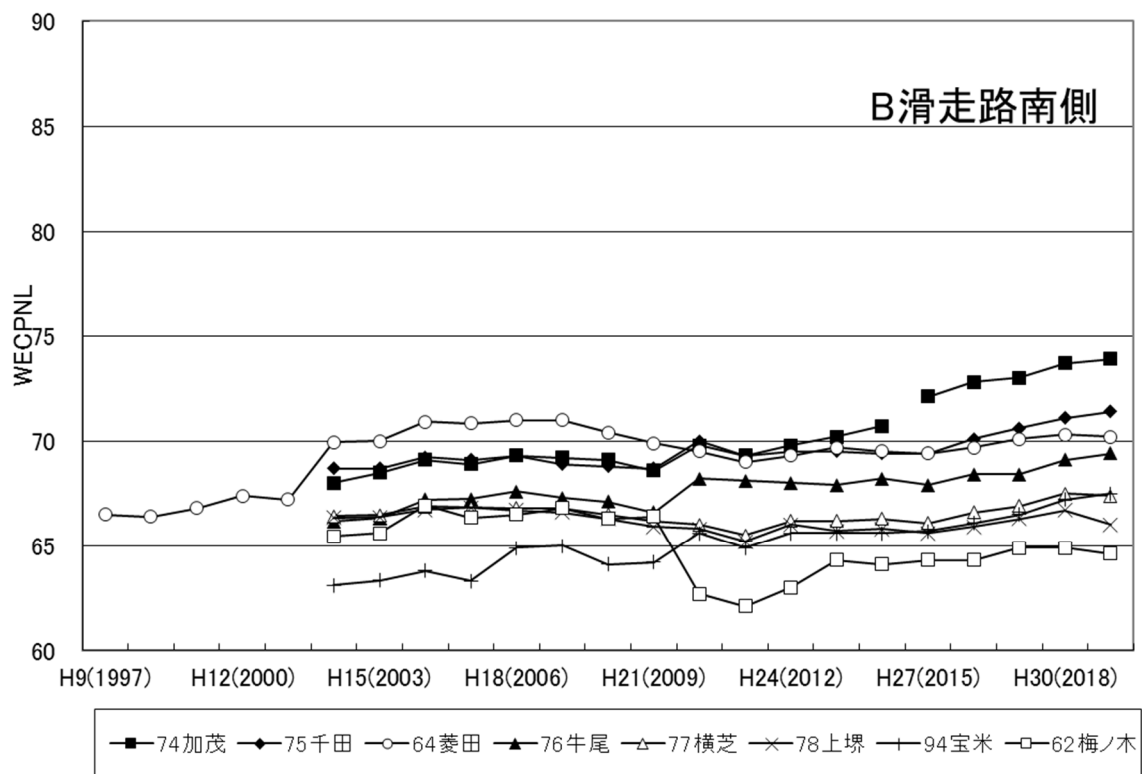


中台局(千葉県)は、平成25年度に旧中台局(横芝光町)の場所に移設した。

図9 B滑走路周辺 年間WECPNLの経年変化



土室局(千葉県)は、平成21年4月に飛行ルート(南東方向)側に170m移設し、新局扱いとした。



加茂局は、平成27年1月にマイクロホンを移設したため、平成26年度のWECPNL値は参考値とし、平成27年度から新局扱いとした。



## 第 2 資 料



# 1 月間 $L_{den}$ (令和元年度)

(空港北側)

$L_{den}$  単位: dB

区分	所在地	測定局名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	57dB 超過 月数	元年度 年間値	環境基準 類型	達成 <sup>1)</sup> 状況	騒音 区域
A北側 コース 直下	14	成田市 荒海	61.0	59.2	60.3	60.5	58.3	60.4	62.2	62.4	62.6	62.2	60.7	60.1	12	61	類型	×	第1種
	15	成田市 荒海橋本	61.5	59.8	60.9	61.1	58.8	60.9	62.5	62.9	63.1	62.7	61.6	61.0	12	62	類型	×	第1種
	16	成田市 芦田(成田市)	61.7	59.2	60.4	60.9	57.7	61.0	63.0	63.5	63.9	63.5	61.9	61.2	12	62	類型	×	第1種
	17	成田市 西和泉	63.3	61.3	62.4	62.7	60.4	(62.2)	64.6	65.2	65.4	64.8	63.4	62.8	12	63	類型	×	第2種
	18	成田市 16R	70.3	69.2	70.9	70.8	69.0	70.4	71.4	71.6	71.2	71.0	69.8	69.1	12	70	指定地域外	-	空港内
B北側 コース 直下	19	成田市 西大須賀	60.6	61.7	61.1	60.4	61.6	59.7	58.7	58.7	57.4	57.3	58.8	57.7	10	60	類型	×	第1種
	20	成田市 四谷	59.0	59.1	58.7	58.4	58.9	57.7	57.8	58.0	57.9	57.6	57.5	56.3	11	58	類型	×	第1種
	21	成田市 高倉	63.1	64.2	63.8	63.4	64.6	62.8	61.2	61.2	59.7	59.5	61.1	60.0	12	62	類型	×	第1種
	22	成田市 土室(千葉県)	66.2	67.7	67.2	66.8	68.2	(66.7)	-	(64.0)	62.1	(60.5)	64.2	63.0	11	66	類型	×	第1種
	23	成田市 16L	70.2	71.5	71.2	70.9	72.0	70.5	68.7	68.0	66.2	65.8	67.7	66.7	12	70	類型	×	第2種
A北側 コース 西	24	栄町 矢口	49.6	45.9	47.4	48.3	40.5	46.5	51.0	51.6	52.4	52.2	50.2	49.0	0	50	類型		無指定
	25	成田市 竜台	52.9	50.2	52.0	53.1	48.0	52.8	55.6	56.0	56.2	55.6	53.7	52.7	0	54	類型		無指定
	26	成田市 北羽鳥	56.1	53.4	54.9	55.6	52.7	55.8	57.9	58.3	58.7	58.6	57.0	56.3	4	57	類型		無指定
	27	成田市 北羽鳥北部	55.9	52.5	54.0	54.8	49.8	54.8	57.3	57.8	58.5	58.4	56.6	55.5	3	56	類型		無指定
	28	成田市 長沼	56.6	53.1	54.6	55.4	51.2	55.8	58.1	58.6	59.2	59.0	57.1	56.2	4	57	類型		無指定
	29	成田市 芦田(NAA)	56.7	53.2	54.8	56.0	50.8	56.0	58.8	59.1	59.7	59.2	57.3	56.4	4	57	類型		無指定
	30	成田市 押畑	50.2	44.9	46.7	48.4	41.7	48.4	51.7	52.5	53.6	53.7	51.2	50.2	0	51	類型		無指定
	31	成田市 赤荻	59.2	55.2	57.6	58.2	52.7	58.6	60.9	61.5	62.3	62.0	60.0	59.1	10	60	類型	×	第1種
	32	成田市 下金山	51.5	45.2	47.6	50.1	44.1	51.3	53.8	54.4	55.3	55.0	52.5	51.8	0	52	類型		無指定
	33	成田市 野毛平	59.8	56.2	58.1	58.8	53.3	58.9	61.2	61.8	62.4	62.1	60.1	59.2	10	60	類型	×	第1種
34	成田市 馬場	55.2	49.4	51.8	53.0	46.5	54.0	56.5	57.2	58.1	57.9	55.6	54.6	2	55	類型		無指定	
B北側 コース 東	35	成田市 猿山	49.9	48.1	48.3	47.3	43.0	47.4	49.2	48.8	49.9	49.7	48.4	46.6	0	48	類型		無指定
	36	成田市 滑川	56.3	56.7	56.1	55.8	56.2	55.4	55.3	55.0	54.9	54.4	54.8	53.4	0	55	類型		第1種
	37	成田市 内宿	54.4	53.0	53.1	52.5	48.9	52.5	53.8	53.0	54.0	53.3	52.2	50.4	0	53	類型		第1種
	38	成田市 土室(NAA)	56.0	54.5	54.6	54.2	51.9	54.4	55.5	54.8	55.6	55.1	53.9	52.1	0	55	類型		第1種
	39	成田市 大室(成田市)	57.8	56.0	56.3	56.4	54.6	56.6	57.2	56.7	58.3	56.9	55.9	53.7	2	57	類型		第1種
北側 谷間 地区	40	成田市 新川	56.5	54.1	54.9	55.0	51.3	54.9	57.3	57.7	58.3	57.9	56.4	55.3	3	56	類型		無指定
	41	成田市 水掛	56.3	52.8	53.8	54.5	48.9	54.2	56.7	57.0	58.1	57.7	55.9	54.7	2	56	類型		無指定
	42	成田市 磯部	57.3	53.8	55.6	56.2	51.8	56.5	58.7	59.2	60.0	59.7	57.9	56.5	5	57	類型		第1種
	43	成田市 幡谷	56.9	54.7	55.1	55.5	51.2	54.9	57.0	56.7	57.6	57.5	56.2	54.7	2	56	類型		無指定
	44	成田市 久住	57.1	54.5	55.2	55.6	52.4	55.8	57.8	58.3	59.1	58.7	57.0	55.6	4	57	類型		無指定
	45	成田市 飯岡	59.2	55.7	57.1	57.8	52.9	57.8	60.4	60.9	61.6	61.1	59.5	58.4	9	59	類型	×	第1種
	46	成田市 大生	59.4	56.1	57.7	58.5	53.9	58.9	60.9	61.5	62.2	61.8	59.9	58.8	10	60	類型	×	第1種
	47	成田市 成毛	56.6	52.8	54.0	54.7	47.7	54.7	57.4	57.4	58.5	58.1	56.1	54.6	2	56	類型		無指定
	48	成田市 東和泉	58.4	54.8	55.9	56.9	51.0	57.1	59.5	60.1	60.9	60.6	58.8	57.7	7	58	類型	×	無指定
	49	成田市 野毛平工業団地	59.8	56.0	57.5	58.1	51.6	58.0	60.8	61.5	62.4	62.0	60.2	59.0	10	60	指定地域外	-	第1種

(空港側方)

$L_{den}$  単位: dB

区分	所在地	測定局名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	57dB 超過 月数	元年度 年間値	環境基準 類型	達成 <sup>1)</sup> 状況	騒音 区域
空港 側方	50	成田市 遠山	58.5	55.9	56.7	57.0	52.9	56.3	58.8	59.6	60.3	60.3	58.7	57.0	6	58	類型	×	第1種
	51	富里市 大和	43.1	38.9	38.8	40.6	36.2	42.1	44.5	46.6	48.4	47.7	42.8	44.4	0	44	類型		無指定
	52	成田市 本三里塚	57.8	55.3	57.1	57.4	52.9	57.4	59.3	60.0	58.9	59.6	58.4	57.2	6	58	類型	×	第1種
	53	成田市 三里塚小学校	59.3	58.4	59.1	59.5	56.9	59.1	60.4	61.0	59.6	60.4	59.4	58.3	11	59	類型	×	第1種
	54	成田市 御料牧場記念館	55.5	54.4	54.3	54.6	52.6	54.4	56.1	57.6	56.3	57.7	55.8	54.5	2	56	類型		無指定
	55	成田市 三里塚グラウンド	63.8	63.5	63.4	63.4	62.7	62.8	63.2	64.0	62.8	63.8	63.0	61.8	12	63	類型	×	第1種
	56	成田市 本城	57.2	56.7	55.8	55.6	54.3	55.0	56.1	57.5	56.9	58.3	56.2	54.2	2	56	類型		無指定
	57	成田市 堀之内	57.8	53.9	55.2	55.6	50.8	(54.3)	(60.8)	60.1	60.8	60.5	58.4	57.4	6	58	類型	×	第1種
	58	成田市 大室(NAA)	57.8	56.1	56.3	56.1	54.2	56.6	57.2	55.8	56.7	55.8	55.3	53.1	1	56	類型		第1種
	59	成田市 新田(NAA)	55.7	55.0	52.9	53.2	55.1	51.5	53.3	56.6	58.4	57.4	56.5	55.8	1	56	類型		第1種
	60	成田市 新田(成田市)	58.4	57.2	55.5	55.6	57.5	54.6	55.6	58.2	59.5	59.1	57.8	56.9	6	57	類型		第1種
	61	多古町 一畝田	53.8	54.5	53.4	52.6	54.5	52.7	51.4	51.5	52.3	51.5	51.9	50.6	0	53	類型		第1種
	62	芝山町 梅ノ木	54.2	54.6	53.8	52.5	54.4	53.5	52.2	52.2	52.6	52.5	52.1	50.9	0	53	類型		無指定
	63	芝山町 芝山千代田	56.6	57.1	56.0	54.8	55.5	54.5	55.0	55.8	56.5	56.1	56.2	55.5	0	56	類型		無指定
	64	芝山町 菱田	59.1	(59.0)	-	(57.5)	57.9	58.3	58.4	58.7	59.2	59.1	58.3	57.6	11	59	類型	×	第1種
65	芝山町 大里 <sup>3)</sup>	-	-	56.5	55.9	56.9	(56.6)	55.8	56.3	56.9	56.8	56.3	55.4	0	56	類型		無指定	

(空港南側)

L<sub>den</sub> 単位: dB

区分	所在地	測定局名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	57dB 超過 月数	元年度 年間値	環境基準 類型	達成 状況 <sup>1</sup>	騒音 区域
A南側 コース 直下	66	芝山町 34L	71.8	72.4	72.7	73.1	73.5	72.6	71.9	71.8	70.9	71.3	71.1	70.9	12	72	指定地域外	-	空港内
	67	芝山町 大台	65.5	65.9	65.9	65.8	66.2	(65.8)	65.2	65.0	63.8	64.2	64.5	64.7	12	65	指定地域外	-	第3種
	68	芝山町 小池	62.1	63.0	62.7	62.3	63.2	62.1	61.3	61.4	60.1	60.6	61.3	61.2	12	62	類型	×	第1種
	69	芝山町 芝山集会所	61.0	61.3	61.2	60.2	60.3	(60.2)	60.3	60.5	59.6	59.9	60.2	60.3	12	60	類型	×	第1種
	70	横芝光町 中台(千葉県)	61.1	61.7	61.4	61.0	61.7	(61.3)	60.3	60.5	58.8	59.0	60.4	60.3	12	61	類型	×	第1種
	71	山武市 八田	58.1	58.6	58.4	57.4	58.0	(57.9)	57.5	57.8	57.0	57.5	57.7	57.4	9	58	類型	×	第1種
	72	山武市 蓮沼	54.4	54.1	54.3	53.9	54.6	53.9	53.9	54.4	54.2	54.5	53.8	53.3	0	54	類型		無指定
B南側 コース 直下	73	成田市 34R	73.8	72.1	72.6	73.1	71.9	74.5	74.7	74.8	75.5	75.4	73.8	73.1	12	74	指定地域外	-	空港内
	74	芝山町 加茂	62.0	60.1	60.2	60.1	58.9	61.4	62.2	62.6	63.2	63.1	61.5	60.7	12	62	類型	×	第1種
	75	多古町 千田	59.3	58.0	57.8	57.8	56.1	(58.8)	59.9	60.3	61.0	60.9	59.3	58.5	11	59	類型	×	第1種
	76	多古町 牛尾	58.7	57.0	56.9	56.6	55.5	(58.0)	58.8	59.5	60.5	60.4	58.8	58.0	8	58	類型	×	無指定
	77	横芝光町 横芝	57.2	55.0	55.3	54.9	53.8	56.5	57.2	57.9	58.9	58.9	57.1	56.3	3	57	類型		無指定
	78	横芝光町 上堺	56.7	54.6	55.0	54.6	52.7	55.5	56.2	57.0	57.6	57.7	55.8	55.0	2	56	類型		無指定
A南側 コース 西	79	成田市 南三里塚	59.9	60.5	60.0	59.5	60.0	(58.3)	58.3	59.2	59.0	59.3	58.7	57.5	12	59	類型	×	第1種
	80	芝山町 牧野西	50.3	51.4	50.6	50.1	50.5	47.7	47.3	48.4	47.6	48.0	49.0	48.2	0	49	類型		無指定
	81	芝山町 高田西	51.2	52.9	51.9	50.8	50.5	(49.3)	47.9	49.1	46.7	48.3	50.0	49.4	0	50	類型		無指定
	82	芝山町 芝山	56.1	57.6	56.7	56.1	57.4	55.3	53.7	54.5	52.3	53.3	54.9	54.4	1	55	類型		第1種
	83	芝山町 芝山町役場	58.1	59.8	59.0	58.0	59.5	57.8	56.1	56.8	54.7	55.6	57.4	57.0	6	58	類型	×	第1種
	84	山武市 山室	53.7	55.2	54.5	54.0	55.2	(53.5)	50.8	52.4	50.4	51.3	52.7	52.3	0	53	類型		無指定
	85	山武市 古和	50.9	52.6	51.7	50.9	51.7	50.0	48.8	49.8	48.1	49.1	50.2	49.5	0	50	類型		無指定
	86	山武市 蕪木	53.1	54.7	54.0	53.2	54.3	52.3	51.4	52.1	50.2	51.4	52.4	52.0	0	53	類型		無指定
	87	山武市 松尾	56.3	57.3	56.8	56.2	57.2	55.6	54.7	55.2	54.0	54.6	55.2	54.7	0	56	類型		無指定
	88	山武市 上横地	48.8	48.8	49.5	48.4	49.2	46.6	47.0	47.7	46.3	47.3	47.8	47.4	0	48	類型		無指定
	89	山武市 木戸	51.7	52.2	52.4	51.9	52.4	51.3	50.9	51.2	50.3	51.2	51.0	50.7	0	51	類型		無指定
B南側 コース 東	90	芝山町 菱田東	56.2	55.9	55.3	54.8	55.6	55.7	55.4	55.6	56.2	56.1	55.0	54.1	0	56	類型		第1種
	91	多古町 間倉	51.4	50.7	50.0	50.2	51.9	(51.8)	48.9	49.1	49.3	49.5	49.3	48.4	0	50	類型		無指定
	92	多古町 喜多	52.7	51.3	52.5	52.2	52.4	(53.3)	52.8	53.3	54.1	54.2	52.3	51.3	0	53	類型		無指定
	93	多古町 船越	53.0	50.6	51.9	51.8	52.1	(52.3)	(53.5)	53.9	54.7	54.7	53.1	52.1	0	53	類型		無指定
	94	横芝光町 宝米	56.9	54.7	54.8	54.3	53.5	56.0	57.1	58.1	58.8	58.8	57.1	56.1	3	57	類型		無指定
南側 谷間 地区	95	芝山町 芝山東	56.7	57.1	56.5	55.8	56.9	(56.8)	55.7	56.2	56.2	56.3	55.9	55.2	0	56	類型		無指定
	96	芝山町 谷	59.5	61.1	60.4	60.1	61.4	(59.8)	57.1	58.1	56.7	57.2	58.9	58.3	9	59	類型	×	第1種
	97	芝山町 上吹入	56.7	56.8	57.2	56.5	57.8	(57.0)	55.3	56.1	55.4	55.8	56.3	55.8	1	56	類型		無指定
	98	芝山町 高谷	56.6	56.1	56.3	55.4	56.3	56.6	56.4	57.1	57.4	57.5	56.9	56.1	1	57	類型		無指定
	99	芝山町 竜ヶ塚	58.5	60.3	59.5	58.7	60.1	(59.0)	-	-	-	(56.1)	57.9	(57.3)	7	59 <sup>2</sup>	類型	-	第1種
	100	横芝光町 牛熊	55.8	55.2	55.8	55.7	56.4	55.4	55.0	55.9	55.8	56.0	55.7	55.2	0	56	類型		無指定
	101	横芝光町 中台(NAA)	56.7	58.1	57.3	56.5	57.8	(56.8)	54.9	55.7	54.5	55.0	56.0	55.6	2	56	類型		第1種
	102	横芝光町 大総	57.4	56.8	56.3	55.5	55.6	(56.1)	57.1	57.9	58.2	58.4	57.1	56.3	3	57	類型		無指定
	103	横芝光町 長倉	57.0	57.7	57.3	56.5	57.2	(56.7)	55.8	56.6	56.1	56.5	55.9	55.2	1	57	類型		無指定

月間値を参考値とした測定結果を()で示す。

環境基準達成局数	54
非達成局数	30
指定地域外等局数	6
計	90
環境基準達成率(%)	64%

1 環境基準の適合状況の評価は年平均値で行う。

2 竜ヶ塚局は元年度年間値が参考値のため、環境基準との比較は行わない。

3 大里局はR1年度中に移設したため新局扱い(旧大里局は廃局)

4 台風被害に伴う停電等により9月で多くの局で参考値となった



(空港南側)

区分	所在地	測定局名	騒音区域	環境基準類型	L <sub>den</sub> (dB)								WECPNL										移設年月	
					H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)		
A南側 コース 直下	66	芝山町 34L	空港内	指定地域外	73.8	74.4	74.0	73.5	73.3	72.8	72.1	72.1	89.6	88.3	89.6	90.6	90.3	89.7	89.4	88.7	87.7	87.8		
	67	芝山町 大台	第3種	指定地域外	/	67.5	67.4	66.9	66.8	66.3	65.3	65.3	80.0	79.1	80.3	81.7	81.6	81.0	80.8	80.2	78.8	78.8		
	68	芝山町 小池	第1種	類型	/	63.9	63.7	63.2	63.0	62.7	61.8	61.9	75.7	74.8	75.5	76.1	76.0	75.5	75.2	74.8	73.7	73.5		
	69	芝山町 芝山集会所	第1種	類型	/	62.6	62.3	62.1	62.0	61.5	60.4	60.5	74.1	73.3	74.1	74.6	74.4	74.2	73.9	73.3	72.0	72.0		
	70	横芝光町 中台(千葉県)	第1種	類型	/	62.5	62.6	62.4	62.2	(61.5)	60.8	60.7	73.6	72.3	73.0	74.8	74.8	74.4	74.1	(73.4)	72.2	72.1	H25年4月	
	71	山武市 八田	第1種	類型	/	60.1	59.6	59.0	58.9	58.6	57.8	57.8	71.8	70.8	71.6	71.6	71.7	71.2	71.0	70.6	69.9	69.6		
	72	山武市 蓮沼	無指定	類型	/	55.8	55.9	55.8	(54.9)	54.7	54.6	54.1	54.1	67.6	66.5	66.6	66.9	66.7	(65.4)	65.2	65.2	64.6	64.3	H27年7月
B南側 コース 直下	73	成田市 34R	空港内	指定地域外	71.1	70.7	70.8	70.7	70.8	(70.4)	73.8	73.9	86.6	86.5	86.8	86.6	86.6	86.6	87.1	(86.5)	91.5	91.7	H22年4月, H29年12月	
	74	芝山町 加茂	第1種	類型	/	58.8	59.3	(60.1)	60.5	60.8	61.5	61.5	69.8	69.3	69.8	70.2	70.7	(72.1)	72.8	73.0	73.7	73.9	H27年1月	
	75	多古町 千田	第1種	類型	/	57.6	57.6	57.6	57.4	58.1	58.5	59.0	59.2	70.0	69.3	69.5	69.5	69.4	69.4	70.1	70.6	71.1	71.4	
	76	多古町 牛尾	無指定	類型	/	57.3	57.1	57.4	57.1	57.5	57.6	58.3	58.5	68.2	68.1	68.0	67.9	68.2	67.9	68.4	68.4	69.1	69.4	
	77	横芝光町 横芝	無指定	類型	/	55.7	55.6	55.8	55.5	55.9	56.3	57.0	56.8	66.0	65.5	66.2	66.2	66.3	66.1	66.6	66.9	67.5	67.4	
	78	横芝光町 上堺	無指定	類型	/	55.4	55.2	55.3	55.0	55.3	55.8	56.5	55.9	65.8	65.2	66.0	65.7	65.8	65.6	65.9	66.2	66.7	66.0	
A南側 コース 西	79	成田市 南三里塚	第1種	類型	/	59.7	59.6	59.0	59.1	59.7	59.6	59.3	73.5	72.7	73.3	73.0	72.9	72.2	72.4	73.1	72.8	72.4		
	80	芝山町 牧野西	無指定	類型	/	50.3	50.1	49.6	49.4	49.8	49.5	49.3	62.5	61.6	62.0	62.6	62.4	61.6	61.3	61.9	61.7	61.6		
	81	芝山町 高田西	無指定	類型	/	51.2	51.1	50.8	50.2	50.7	50.3	50.2	61.0	60.3	60.7	62.0	62.1	61.5	60.9	61.5	61.0	60.7		
	82	芝山町 芝山	第1種	類型	/	56.5	56.8	56.8	56.1	55.7	56.0	55.6	55.5	67.3	66.6	66.7	67.1	67.3	66.4	65.9	66.2	65.7	65.3	
	83	芝山町 芝山町役場	第1種	類型	/	58.8	58.9	58.4	58.0	58.3	57.9	57.7	69.5	69.2	69.5	70.0	70.3	69.6	69.2	69.4	68.8	68.4		
	84	山武市 山室	無指定	類型	/	54.8	54.9	54.8	54.1	53.8	53.8	53.4	53.3	66.1	65.5	65.6	65.8	65.9	65.0	64.7	64.7	64.1	63.8	
	85	山武市 古和	無指定	類型	/	51.8	51.7	51.1	50.8	50.9	50.5	50.5	63.0	62.5	62.8	63.0	63.1	62.2	62.0	62.0	61.5	61.2		
	86	山武市 蕪木	無指定	類型	/	54.1	54.0	53.4	53.2	53.6	53.0	52.8	65.4	64.7	65.1	65.3	65.3	64.5	64.3	64.7	64.0	63.5		
	87	山武市 松尾	無指定	類型	/	56.2	56.9	56.8	56.6	56.4	56.5	55.9	55.8	67.7	67.0	67.2	67.9	67.8	67.2	66.9	67.0	66.3	66.0	H25年9月
	88	山武市 上横地	無指定	類型	/	49.2	49.2	48.9	48.6	48.7	48.4	48.0	59.8	59.1	59.5	59.6	59.6	59.1	58.7	58.7	58.4	57.7		
	89	山武市 木戸	無指定	類型	/	53.2	53.0	52.6	52.6	52.5	51.7	51.5	63.3	62.8	63.2	63.6	63.3	62.7	62.7	62.5	61.6	61.3		
B南側 コース 東	90	芝山町 菱田東	第1種	類型	/	54.7	55.5	55.7	55.5	55.6	55.7	55.8	55.5	65.8	65.2	65.5	66.4	66.3	66.4	66.8	67.0	67.2	67.1	
	91	多古町 間倉	無指定	類型	/	50.8	50.7	50.5	50.7	51.2	50.7	50.1	58.9	58.5	59.5	60.5	60.3	60.5	60.6	61.2	61.2	60.7		
	92	多古町 喜多	無指定	類型	/	51.5	52.0	52.3	52.1	52.0	52.6	52.4	52.8	62.0	61.6	61.6	62.0	62.1	62.2	62.3	63.0	62.9	63.4	
	93	多古町 船越	無指定	類型	/	52.0	52.2	52.1	52.4	52.8	53.1	53.0	62.3	61.5	62.3	62.8	62.8	62.8	63.0	63.5	63.8	63.7		
	94	横芝光町 宝米	無指定	類型	/	54.9	55.1	54.9	55.3	55.8	56.5	56.7	65.6	64.9	65.6	65.6	65.6	65.7	66.1	66.5	67.2	67.5		
南側 谷間 地区	95	芝山町 芝山東	無指定	類型	/	56.1	56.6	56.6	56.2	56.0	56.5	56.5	56.3	67.6	66.9	67.1	67.4	67.2	66.8	66.8	67.3	67.5	67.2	
	96	芝山町 谷	第1種	類型	/	60.1	59.8	59.5	59.2	59.5	59.6	59.3	75.5	74.4	74.6	73.1	72.7	72.4	72.0	72.2	72.5	71.9	H25年4月	
	97	芝山町 上吹入	無指定	類型	/	57.0	57.0	56.6	56.4	56.6	56.6	56.4	68.7	67.9	68.2	68.1	68.0	67.5	67.4	67.7	67.8	67.4		
	98	芝山町 高谷	無指定	類型	/	56.1	56.2	55.9	56.0	56.4	56.5	56.6	67.5	66.7	67.0	67.2	67.2	67.0	67.0	67.5	67.7	67.7		
	99	芝山町 竜ヶ塚	第1種	類型	/	59.9	59.8	59.2	58.6	59.0	58.6	(59.0)	73.0	71.7	72.1	72.4	72.4	71.7	71.0	71.4	70.9	71.1		
	100	横芝光町 牛熊	無指定	類型	/	56.2	55.9	55.7	55.6	55.9	55.7	55.7	67.8	66.5	67.0	67.4	67.1	66.8	66.6	66.9	66.8	66.4		
	101	横芝光町 中台(NAA)	第1種	類型	/	57.7	57.8	57.6	57.1	56.7	56.7	56.3	56.4	70.5	69.2	69.1	69.4	69.3	68.6	68.2	68.1	67.7	67.5	
	102	横芝光町 大総	無指定	類型	/	56.1	56.2	56.2	56.0	56.2	56.5	56.9	57.0	68.0	66.9	66.8	67.0	67.0	66.8	67.0	67.3	67.6	67.6	
	103	横芝光町 長倉	無指定	類型	/	57.5	57.4	56.8	(56.7)	56.9	56.7	56.7	69.8	68.5	68.8	69.0	68.9	68.2	(68.2)	68.3	68.1	67.8		
	環境基準達成局数					48	48	53	48	51	53	54	58	58	59	/	/	/	/	/	/	/	/	
非達成局数					36	34	30	35	32	31	30	28	26	26	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
指定地域外等局数					5	7	6	6	6	5	6	5	5	5	/	/	/	/	/	/	/	/		
計					89	89	89	89	89	89	90	91	89	90	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
環境基準達成率					57%	59%	64%	58%	61%	63%	64%	64%	69%	69%	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

1 平成24年度のL<sub>den</sub>値は、L<sub>den</sub>を測定した測定局(NAA設置局)のみ参考として記載した。

2 欠測等の理由により、年間値を参考値とした測定結果を(/)で示す。

## 第 3 參考資料

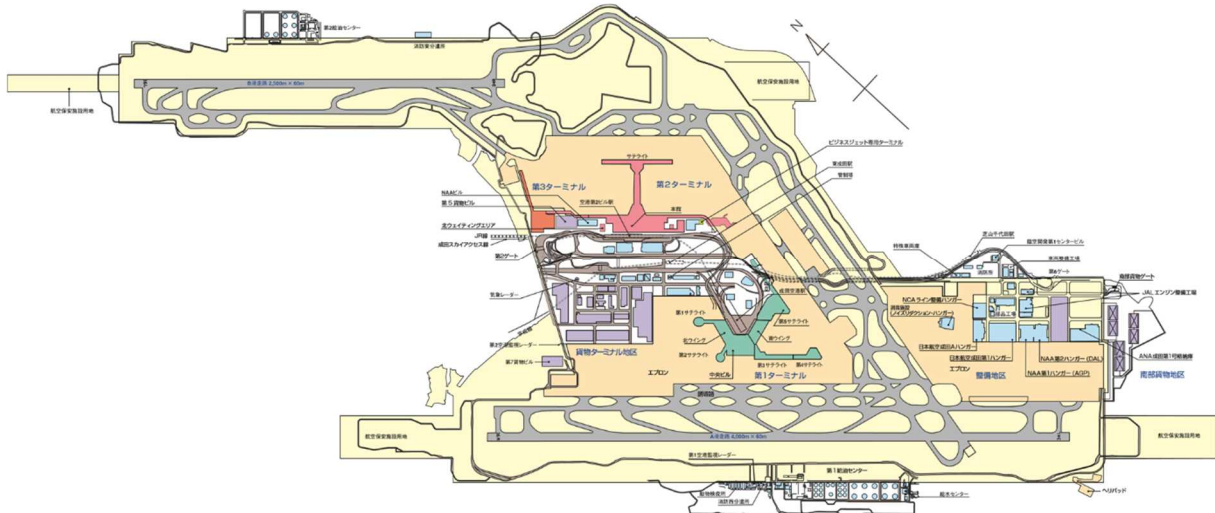


# 1 成田国際空港の概要

## ( 1 ) 空港の概要

空港の概要について以下に整理する。

図10 空港全体図 ( 出典：成田国際空港株式会社ホームページ )



### ア 空港の位置及び面積

- (ア) 位置 千葉県成田市
- (イ) 標点の位置 北緯 35度45分55秒 東経140度23分08秒  
 海拔41メートル
- (ウ) 面積 全体計画面積 1,198ヘクタール  
 供用区域面積 1,137ヘクタール  
 未供用整備区域面積 61ヘクタール

### イ 空港の設置者

成田国際空港株式会社( N A A ; Narita International Airport Corporation )

### ウ 空港の基本施設

- (ア) 滑走路A 長さ 4,000m × 幅 60m
- (イ) 滑走路B 長さ 2,500m × 幅 60m
- (ウ) 誘導路 長さ 31,200m × 幅 30m、25m、23m
- (エ) エプロン 面積 約243ヘクタール
- (オ) スポット数 ( 令和元年10月末現在 )

区分	スポット数
T1スポット	40
T2スポット	32
T3スポット	11
貨物地区スポット	21
オープンスポット	34
整備地区スポット	33
合計	171

(注)一時閉鎖中のものを含む

エ 運用状況

(ア) 滑走路運用時間 (令和元年10月27日から)

A滑走路：午前6時から午前0時まで

B滑走路：午前6時から午後11時まで

(イ) 発着回数 (令和元年度実績)

		発着回数				比較		
		令和元年度		平成30年度		-		前年度比
		年間値	日平均	年間値	日平均	年間値	日平均	
A滑走路	離陸	116,407	318.9	114,777	314.5	1,630	4.4	101%
	着陸	25,992	71.2	28,241	77.4	-2,249	-6.2	92%
	計	142,399	390.1	143,018	391.8	-619	-1.7	100%
B滑走路	離陸	12,826	35.1	13,626	37.3	-800	-2.2	94%
	着陸	103,272	282.9	100,177	274.5	3,095	8.4	103%
	計	116,098	318.1	113,803	311.8	2,295	6.3	102%
合計	離陸	129,233	354.1	128,403	351.8	830	2.3	101%
	着陸	129,264	354.1	128,418	351.8	846	2.3	101%
	計	258,497	708.2	256,821	703.6	1,676	4.6	101%

(ウ) 航空会社の乗り入れ状況 (令和元年度冬ダイヤ)

106社 (海外118都市、国内22都市)

(エ) 航空旅客数 (令和元年度)

41,479,878人 (対前年度比 96%)

(オ) 国際航空貨物量 (令和元年度)

2,045,279トン (対前年度比 96%)

(カ) 離着陸制限 (カーフュー) 時間内における弾力的運用回数

単位：回

年度	平成27年度 (2015)	平成28年度 (2016)	平成29年度 (2017)	平成30年度 (2018)	令和元年度 (2019)
カーフュー内	98	296	124	159	168
(緊急事態)	33	185	26	109	125
(弾力的運用)	65	111	98	50	43

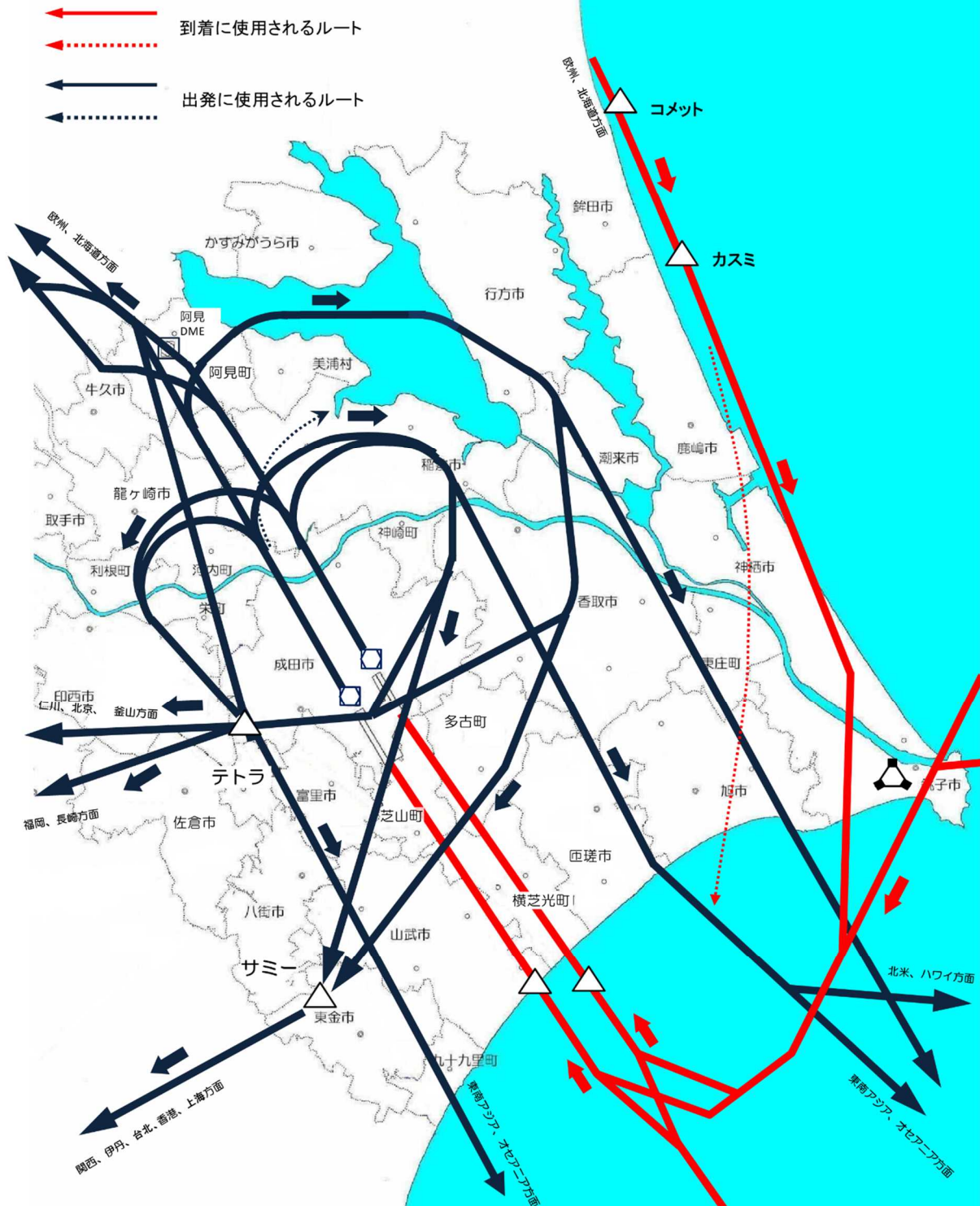
(2) 飛行コース概略図

風向別の標準飛行コースは次のとおり。

なお、令和元年度7月18日から、標準飛行コースが変更された。

ア 北風運用時(令和元年7月17日まで)  
滑走路34使用;滑走路を北北西方向に進行

【北風運用時】成田国際空港離着陸機の標準飛行コース

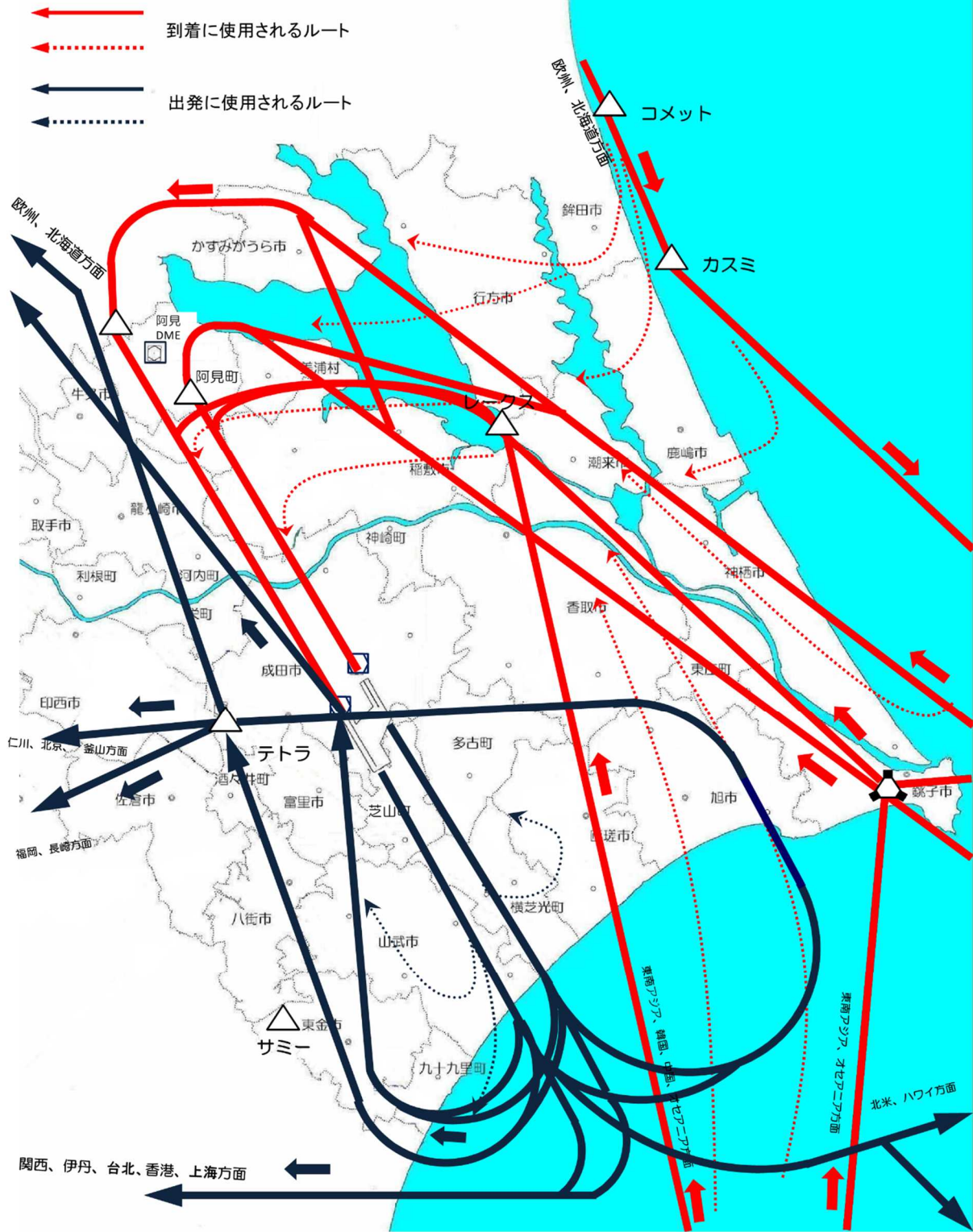


出典：成田国際空港株式会社ホームページ



ウ 南風運用時（令和元年7月17日まで）  
滑走路16使用；滑走路を南南東方向に進行

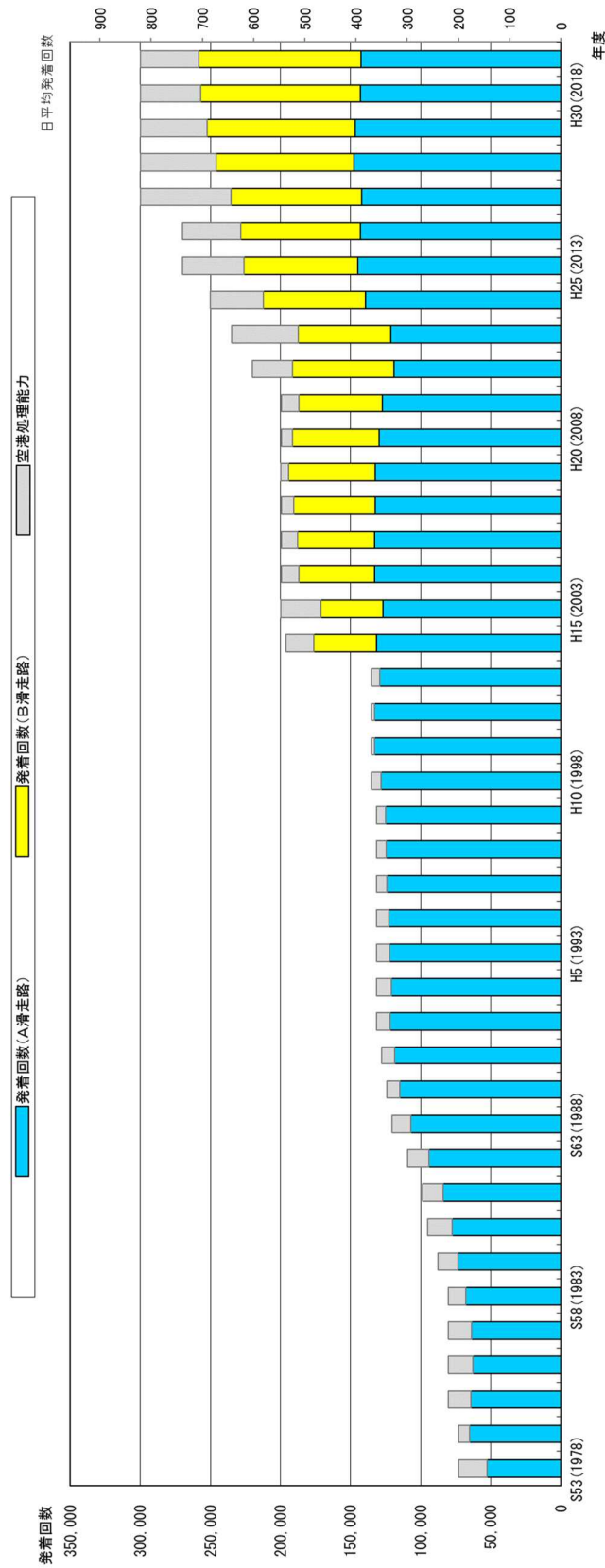
【南風運用時】成田国際空港離着陸機の標準飛行コース



出典：成田国際空港株式会社ホームページ



( 3 ) 総発着回数の年度別推移



出典：公益財団法人成田空港周辺地域共生財団「令和元年度成田国際空港周辺航空機騒音測定結果」

(4) 機種別離着陸比率集計表

離着陸滑走路区分	A滑走路
対象年度	令和元年度
集計日数	366日

機種	空港北側						空港南側						合計				
	離陸機数	日平均	比率%	着陸機数	日平均	比率%	離陸機数	日平均	比率%	着陸機数	日平均	比率%	離陸機数	着陸機数	全機数	日平均	比率%
A320	10,045	27.4	7.0	665	1.8	0.5	8,225	22.5	5.7	415	1.1	0.3	18,270	1,080	19,350	52.9	13.5
B738	6,899	18.8	4.8	619	1.7	0.4	5,782	15.8	4.0	526	1.4	0.4	12,681	1,145	13,826	37.8	9.6
B788	5,968	16.3	4.2	1,227	3.4	0.9	5,374	14.7	3.7	1,100	3.0	0.8	11,342	2,327	13,669	37.3	9.5
B789	5,613	15.3	3.9	1,629	4.5	1.1	4,666	12.7	3.3	1,343	3.7	0.9	10,279	2,972	13,251	36.2	9.2
B763	5,111	14.0	3.6	1,391	3.8	1.0	4,796	13.1	3.3	1,401	3.8	1.0	9,907	2,792	12,699	34.7	8.8
B77W	4,440	12.1	3.1	2,020	5.5	1.4	3,925	10.7	2.7	1,841	5.0	1.3	8,365	3,861	12,226	33.4	8.5
A333	3,768	10.3	2.6	429	1.2	0.3	3,083	8.4	2.1	375	1.0	0.3	6,851	804	7,655	20.9	5.3
B772	2,579	7.0	1.8	857	2.3	0.6	2,238	6.1	1.6	848	2.3	0.6	4,817	1,705	6,522	17.8	4.5
A321	3,106	8.5	2.2	355	1.0	0.2	2,779	7.6	1.9	220	0.6	0.2	5,885	575	6,460	17.7	4.5
B748	1,462	4.0	1.0	933	2.5	0.6	935	2.6	0.7	1,206	3.3	0.8	2,397	2,139	4,536	12.4	3.2
A359	1,817	5.0	1.3	407	1.1	0.3	1,463	4.0	1.0	394	1.1	0.3	3,280	801	4,081	11.2	2.8
B77L	1,610	4.4	1.1	447	1.2	0.3	1,261	3.4	0.9	466	1.3	0.3	2,871	913	3,784	10.3	2.6
A388	905	2.5	0.6	763	2.1	0.5	754	2.1	0.5	897	2.5	0.6	1,659	1,660	3,319	9.1	2.3
A332	1,384	3.8	1.0	186	0.5	0.1	1,265	3.5	0.9	158	0.4	0.1	2,649	344	2,993	8.2	2.1
B744	1,179	3.2	0.8	411	1.1	0.3	910	2.5	0.6	481	1.3	0.3	2,089	892	2,981	8.1	2.1
A20N	1,431	3.9	1.0	220	0.6	0.2	1,085	3.0	0.8	174	0.5	0.1	2,516	394	2,910	8.0	2.0
DH8D	737	2.0	0.5	68	0.2	0.0	654	1.8	0.5	53	0.1	0.0	1,391	121	1,512	4.1	1.1
B773	686	1.9	0.5	41	0.1	0.0	716	2.0	0.5	21	0.1	0.0	1,402	62	1,464	4.0	1.0
A21N	660	1.8	0.5	18	0.0	0.0	375	1.0	0.3	12	0.0	0.0	1,035	30	1,065	2.9	0.7
A343	384	1.0	0.3	129	0.4	0.1	275	0.8	0.2	146	0.4	0.1	659	275	934	2.6	0.7
B78X	435	1.2	0.3	38	0.1	0.0	360	1.0	0.3	81	0.2	0.1	795	119	914	2.5	0.6
BK17	367	1.0	0.3	367	1.0	0.3	0	0.0	0.0	0	0.0	0.0	367	367	734	2.0	0.5
BCS3	341	0.9	0.2	22	0.1	0.0	353	1.0	0.2	17	0.0	0.0	694	39	733	2.0	0.5
A339	409	1.1	0.3	64	0.2	0.0	150	0.4	0.1	109	0.3	0.1	559	173	732	2.0	0.5
CRJ7	361	1.0	0.3	46	0.1	0.0	279	0.8	0.2	28	0.1	0.0	640	74	714	2.0	0.5
MD11	160	0.4	0.1	133	0.4	0.1	198	0.5	0.1	168	0.5	0.1	358	301	659	1.8	0.5
A319	235	0.6	0.2	40	0.1	0.0	232	0.6	0.2	30	0.1	0.0	467	70	537	1.5	0.4
A306	167	0.5	0.1	30	0.1	0.0	158	0.4	0.1	46	0.1	0.0	325	76	401	1.1	0.3
その他	1,468	4.0	1.0	324	0.9	0.2	961	2.6	0.7	129	0.4	0.1	2,429	453	2,882	7.9	2.0
合計	63,727	174.1	44.4	13,879	37.9	9.7	53,252	145.5	37.1	12,685	34.7	8.8	116,979	26,564	143,543	392.2	100.0

A滑走路のみ回転翼機を含む。

離着陸滑走路区分	B滑走路
対象年度	令和元年度
集計日数	366日

機種	空港北側						空港南側						合計				
	離陸機数	日平均	比率%	着陸機数	日平均	比率%	離陸機数	日平均	比率%	着陸機数	日平均	比率%	離陸機数	着陸機数	全機数	日平均	比率%
A320	2,528	6.9	2.2	9,911	27.1	8.5	1,969	5.4	1.7	11,782	32.2	10.1	4,497	21,693	26,190	71.6	22.6
B738	1,480	4.0	1.3	6,717	18.4	5.8	1,544	4.2	1.3	7,846	21.4	6.8	3,024	14,563	17,587	48.1	15.1
B788	381	1.0	0.3	4,131	11.3	3.6	368	1.0	0.3	5,652	15.4	4.9	749	9,783	10,532	28.8	9.1
B763	481	1.3	0.4	3,810	10.4	3.3	540	1.5	0.5	4,332	11.8	3.7	1,021	8,142	9,163	25.0	7.9
B789	258	0.7	0.2	3,105	8.5	2.7	210	0.6	0.2	4,678	12.8	4.0	468	7,783	8,251	22.5	7.1
A333	136	0.4	0.1	2,808	7.7	2.4	182	0.5	0.2	3,554	9.7	3.1	318	6,362	6,680	18.3	5.8
A321	234	0.6	0.2	2,586	7.1	2.2	212	0.6	0.2	3,167	8.7	2.7	446	5,753	6,199	16.9	5.3
B77W	17	0.0	0.0	1,860	5.1	1.6	20	0.1	0.0	2,687	7.3	2.3	37	4,547	4,584	12.5	3.9
B772	11	0.0	0.0	1,331	3.6	1.1	16	0.0	0.0	1,807	4.9	1.6	27	3,138	3,165	8.6	2.7
A359	112	0.3	0.1	1,065	2.9	0.9	95	0.3	0.1	1,621	4.4	1.4	207	2,686	2,893	7.9	2.5
A20N	150	0.4	0.1	1,021	2.8	0.9	146	0.4	0.1	1,396	3.8	1.2	296	2,417	2,713	7.4	2.3
A332	55	0.2	0.0	1,117	3.1	1.0	68	0.2	0.1	1,310	3.6	1.1	123	2,427	2,550	7.0	2.2
B77L	36	0.1	0.0	677	1.8	0.6	28	0.1	0.0	1,346	3.7	1.2	64	2,023	2,087	5.7	1.8
B748	285	0.8	0.2	335	0.9	0.3	349	1.0	0.3	557	1.5	0.5	634	892	1,526	4.2	1.3
B744	41	0.1	0.0	510	1.4	0.4	83	0.2	0.1	814	2.2	0.7	124	1,324	1,448	4.0	1.2
A21N	93	0.3	0.1	447	1.2	0.4	107	0.3	0.1	758	2.1	0.7	200	1,205	1,405	3.8	1.2
B773	1	0.0	0.0	692	1.9	0.6	1	0.0	0.0	649	1.8	0.6	2	1,341	1,343	3.7	1.2
DH8D	3	0.0	0.0	570	1.6	0.5	7	0.0	0.0	710	1.9	0.6	10	1,280	1,290	3.5	1.1
CRJ7	134	0.4	0.1	447	1.2	0.4	222	0.6	0.2	475	1.3	0.4	356	922	1,278	3.5	1.1
B78X	0	0.0	0.0	286	0.8	0.2	1	0.0	0.0	392	1.1	0.3	1	678	679	1.9	0.6
BCS3	2	0.0	0.0	320	0.9	0.3	4	0.0	0.0	340	0.9	0.3	6	660	666	1.8	0.6
B735	77	0.2	0.1	160	0.4	0.1	80	0.2	0.1	167	0.5	0.1	157	327	484	1.3	0.4
A319	0	0.0	0.0	170	0.5	0.1	0	0.0	0.0	227	0.6	0.2	0	397	397	1.1	0.3
A339	5	0.0	0.0	61	0.2	0.1	0	0.0	0.0	330	0.9	0.3	5	391	396	1.1	0.3
A343	0	0.0	0.0	120	0.3	0.1	0	0.0	0.0	264	0.7	0.2	0	384	384	1.0	0.3
E190	1	0.0	0.0	126	0.3	0.1	1	0.0	0.0	198	0.5	0.2	2	324	326	0.9	0.3
A35K	0	0.0	0.0	112	0.3	0.1	1	0.0	0.0	158	0.4	0.1	1	270	271	0.7	0.2
A306	0	0.0	0.0	77	0.2	0.1	0	0.0	0.0	171	0.5	0.1	0	248	248	0.7	0.2
その他	29	0.1	0.0	570	1.6	0.5	22	0.1	0.0	742	2.0	0.6	51	1,312	1,363	3.7	1.2
合計	6,550	17.9	5.6	45,142	123.3	38.9	6,276	17.1	5.4	58,130	158.8	50.1	12,826	103,272	116,098	317.2	100.0

出典：公益財団法人成田空港周辺地域共生財団「令和元年度成田国際空港周辺航空機騒音測定結果」

( 5 ) 成田国際空港 ( 旧新東京国際空港 ) の経緯

国 / 空港会社		千葉県	
年月日	事 項	年月日	事 項
昭和		昭和	
41. 7. 4	新東京国際空港の位置等の閣議決定		
42. 8. 1	「公共用飛行場周辺における航空機騒音による障害の防止等に関する法律」(騒防法)公布		
43. 1.22	騒防法に基づく指定区域及び除外区域告示(運輸省告示第26号)		
44.12. 1	騒防法に基づく指定区域拡大告示(運輸省告示第323号)		
48.12.27	航空機騒音に係る環境基準告示(環境庁告示第154号)		
49. 3.28	騒防法改正 指定区域を第2種区域に改正		
51. 1. 8	騒防法に基づく第1種区域(85WECPNL)、第2種区域(90WECPNL)及び第3種区域(95WECPNL)を告示(運輸省告示第9号)		
53. 5.20	新東京国際空港開港(翌日1番機飛来)		
		53. 6.10 ~ 6.16	第1回騒音実態調査
		53. 8.29	「航空機騒音に係る環境基準」の地域類型指定(空港周辺13市町村)を告示(県告示第695号)
		53. 9.27 ~ 10. 3	第2回騒音実態調査
53.10.19	「特定空港周辺航空機騒音対策特別措置法」(騒特法)施行		
53.10.19	騒特法施行令により、特定空港として指定		
		53.11.25	知事から環境庁大気保全局長あて、環境基準等について要望
		53.11.30	知事から空港公団総裁あて、環境基準等について要望
53.12.26	「航空機騒音に係る環境基準」の中間改善目標達成期限		
		54. 2.15 ~ 2.21	第3回騒音実態調査(以降毎年夏季及び冬季に実施)
		54. 4. 1	固定測定局3局(成田市西和泉、芝山町小池、横芝町中台)運用開始
54. 7.10	騒防法に基づく第1種区域(80WECPNL)の見直し告示(運輸省告示第384号)		
		54. 8. 1	固定測定局3局増設(成田市荒海、芝山町山田、松尾町八田)運用開始(計6局)
		56.11.19	知事から空港公団総裁あて飛行コースの改善について要請

国 / 空港会社		千葉県	
年月日	事 項	年月日	事 項
57. 3.30	騒防法に基づく第1種区域(75WECPNL)の見直し告示(運輸省告示第157号)		
		57.11.22	騒特法に基づき「新東京国際空港周辺地域における騒音対策基本方針」を決定
		58.10. 6	知事から運輸省航空局長、空港公団総裁あて環境基準の達成について要請
		58.10. 7	知事から環境庁大気保全局長あて環境基準の達成について依頼
58.12.26	「航空機騒音に係る環境基準」の最終目標達成期限		
		59. 6.21	知事から運輸省航空局長、空港公団総裁あて、環境基準の早期達成について要請
		59. 6.26	知事から環境庁大気保全局長あて、環境基準の早期達成について依頼
60. 7. 1	騒防法に基づくB、C滑走路に係る第1種区域(75WECPNL)告示(運輸省告示第280号)		
		60.11.11	知事から運輸省航空局長、空港公団総裁あて、環境基準の早期達成について要請
		60.11.27	知事から環境庁大気保全局長あて、環境基準の早期達成について依頼
		61. 7. 1	固定測定局8局増設(下総町新川、成田市飯岡、成田市芦田、芝山町竜が塚、横芝町牛熊、横芝町長倉、松尾町山室、松尾町蕪木)運用開始(計14局)
		62.10. 1	固定測定局と中央処理システム(大気保全課・公害研究所(現：環境研究センター))を公衆電話回線で接続し、オンライン化運用開始
		63. 8.19	環境部長から空港公団周辺対策部長あて、深夜早朝便数の低減等について要請
平成		平成 元.11.20	知事から運輸省航空局長、空港公団総裁あて、環境基準の早期達成について要請
		元.11.28	知事から環境庁大気保全局長あて、環境基準の早期達成について依頼
2.3.25	発着枠を1日340回から350回へと改定		
2.12.20	発着枠を1日350回から360回へと改定		
		3.11.29	航空機騒音に係る環境基準の地域類型指定の一部改正(県告示第1017号)

国 / 空港会社		千葉県	
年月日	事 項	年月日	事 項
		3.12.20	環境部長から運輸省航空局新東京国際空港課長、空港公団周辺対策部長、環境庁大気保全局企画課長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		5.5.14	知事から運輸省航空局長、空港公団総裁、環境庁大気保全局長あて環境基準の早期達成について要請
		8.1.23	知事から運輸省航空局長、空港公団総裁あて、環境基準の早期達成のための諸施策実施を要請
		8.1.23	知事から環境庁大気保全局長あて、環境基準の早期達成について依頼
		8.4.1	航空機騒音に係る環境基準の地域類型指定の一部改正（県告示第441号）
		9.10.1	成田空港周辺共生財団航空機騒音監視システムの稼働に伴い県固定局データの提供開始
		10.2.12	知事から運輸省航空局長、空港公団総裁あて、環境基準早期達成のための諸施策の実施を要請
		10.2.12	知事から環境庁大気保全局長あて、環境基準の早期達成について依頼
10.4.25	発着枠を1日360回から370回へと改定		
		11.2.8	知事から運輸省航空局長、空港公団総裁あて、環境基準の早期達成のための諸施策実施を要請
		11.2.8	知事から環境庁大気保全局長あて、環境基準の早期達成について依頼
		12.6.20	騒特法に基づく「新東京国際空港周辺地域における騒音対策基本方針」を変更
		13.2.20	知事から国土交通省航空局長、空港公団総裁あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		13.2.20	知事から環境省環境管理局長あて、環境基準の早期達成について依頼
		13.5.11	航空機騒音に係る環境基準の地域類型指定の一部改正（県告示第592号）
		13.5.11	騒特法に基づく航空機騒音障害防止地区等の都市計画決定告示
		13.5.18	都市計画法による都市計画決定に合わせて、航空機騒音に係る環境基準の地域類型指定を一部改正
		14.3.25	県の固定測定局を再配備 ・既設局の移設 成田市飯岡局、成田市荒海局、成田市芦田局、松尾町山室局を廃止し、栄町矢口局、成田市押畑局、富里町大和局、松尾町古和局に移設

国 / 空港会社		千葉県	
年月日	事 項	年月日	事 項
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既設局の機能強化 芝山町大台局、横芝町中台局、松尾町八田局に航空機接近識別装置を設置</li> <li>・ 新設局整備 下総町滑川局、下総町四谷局、下総町高倉局、成田市土室局、芝山町梅ノ木局、芝山町加茂局、多古町船越局、光町宝米局、成東町木戸局</li> <li>・ 新設局に航空機接近識別装置を設置 下総町滑川局、下総町高倉局、成田市土室局、芝山町加茂局、多古町船越局、光町宝米局、成東町木戸局</li> </ul>
		14. 4. 1	成田空港周辺地域共生財団の再整備した航空機騒音監視システムが稼働を開始
14. 4. 18	暫定平行滑走路供用開始 年間発着枠20万回に拡大		
		16. 2. 27	知事から空港公団総裁あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		16. 3. 1	知事から国土交通省航空局長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		16. 3. 1	知事から環境省環境管理局长あて、環境基準の早期達成について依頼
16. 4. 1	空港名を「新東京国際空港」から「成田国際空港」に変更 成田国際空港株式会社発足		
		18. 3. 27	知事から成田国際空港株式会社及び国土交通省航空局長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		18. 3. 27	知事から環境省水・大気環境局長あて、環境基準早期達成について依頼
		19. 2. 20	騒特法に基づく「新東京国際空港周辺地域における航空機騒音対策基本方針」を変更
19. 3. 30	騒防法に基づくB滑走路に係る第1種区域、第2種区域、第3種区域変更の告示（国土交通省告示第424号）		
19.12.17	航空機騒音に係る環境基準の一部改正（環境省告示第114号）		
		19.12.28	騒特法に基づく航空機騒音障害防止地区等の都市計画変更決定告示
		20. 3. 25	知事から成田国際空港株式会社及び国土交通省航空局長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		20. 3. 25	知事から環境省水・大気環境局長あて、環境基準早期達成について依頼

国 / 空港会社		千葉県	
年月日	事 項	年月日	事 項
		21. 3. 23	県の固定測定局移転（成田市土室局を約170m南東の成田市高度コース局に移転）
21.10.22	2,500m B 滑走路供用開始		
22. 3. 28	年間発着枠20万回から22万回へ拡大		
		22. 3. 30	知事から成田国際空港株式会社及び国土交通省航空局長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		22. 3. 30	知事から環境省水・大気環境局長あて、環境基準早期達成について依頼
		23. 3. 4	騒特法に基づく「成田国際空港周辺地域における航空機騒音対策基本方針」を変更
23. 4. 1	騒防法に基づく、第1種区域変更の告示（国土交通省告示第354号）		
23.10.20	滑走路の同時離着陸方式を運用開始		
23.10.30	年間発着枠22万回から23.5万回へ拡大		
		23. 11. 11	騒特法に基づく航空機騒音障害防止地区等の都市計画変更決定告示
		24. 3. 21	知事から国土交通省航空局長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
24. 3. 25	年間発着枠23.5万回から25万回へ拡大		
		24. 3. 27	知事から成田国際空港株式会社あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		24. 3. 27	知事から環境省水・大気環境局長あて、環境基準早期達成について依頼
24.12.13	A滑走路南側の着陸滑走路長4000m化		
		25. 2. 22	航空機騒音に係る環境基準の地域類型指定の一部改正（県告示第70号）
25. 3. 31	離着陸制限時間の弾力的運用を開始 年間発着枠25万回から27万回へ拡大		
25. 4. 1	航空機騒音に係る環境基準の一部改正の施行（WECPNLから $L_{den}$ へ）		
		26. 2. 14	知事から成田国際空港株式会社あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		26. 2. 21	知事から国土交通省航空局長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		26. 2. 21	知事から環境省水・大気環境局長あて、環境基準早期達成について依頼
27. 3. 29	年間発着枠27万回から30万回へ拡大		
		28. 3. 22	知事から成田国際空港株式会社あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請

国 / 空港会社		千葉県	
年月日	事 項	年月日	事 項
		28. 3. 23	知事から国土交通省航空局長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		28.10.18	県固定局23局を光回線化し、成田空港周辺地域共生財団と光回線によるデータ通信を開始
		30. 1. 22	知事から成田国際空港株式会社あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		30. 1. 23	知事から国土交通省航空局長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		30.12.18	騒特法に基づく「成田国際空港周辺地域における航空機騒音対策基本方針」を変更
		30, 3. 23	都市計画法の改正により、航空機騒音に係る環境基準の地域類型指定の一部を改正（県告示第132号）
令和 元.10.27	A滑走路の発着時間を深夜0時まで に1時間延長	令和	
元.11.5	成田国際空港株式会社法第3条に基づき国土交通大臣が定める基本計画を改定（B滑走路の延伸、C滑走路（平行滑走路）の新設等）		
元.11.7	更なる機能強化（年間発着枠50万回化）について、航空法に基づく空港等の変更許可申請を国土交通大臣あてに実施		
		2.1.29	知事から成田国際空港株式会社あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
		2.1.30	知事から国土交通省航空局長あて、環境基準の早期達成のための諸施策の実施を要請
2.1.31	更なる機能強化について、航空法に基づく空港等の変更許可申請を国土交通大臣が許可		
2.3.24	更なる機能強化に伴う騒防法に基づく第1種区域、第2種区域、第3種区域変更の告示（国土交通省告示第409号） 2.4.1施行		
		2. 4. 1	騒特法に基づく航空機騒音障害防止地区等の都市計画変更決定告示

## 2 関係告示及び通知（航空機騒音に係る環境基準）

### （1）航空機騒音に係る環境基準について（告示）

	昭和48年12月27日	環境庁告示第154号
改正	平成5年10月28日	環境庁告示第91号
改正	平成12年12月14日	環境庁告示第78号
改正	平成19年12月17日	環境省告示第114号

環境基本法(平成5年法律第91号)第16条第1項の規定に基づく騒音に係る環境上の条件につき、生活環境を保全し、人の健康の保護に資するうえで維持することが望ましい航空機騒音に係る基準（以下「環境基準」という。）及びその達成期間は、次のとおりとする。

#### 第1 環境基準

- 1 環境基準は、地域の類型ごとに次表の基準値の欄に掲げるとおりとし、各類型をあてはめる地域は、都道府県知事が指定する。

地域の類型	基準値
	57デシベル以下
	62デシベル以下

（注）をあてはめる地域は専ら住居の用に供される地域とし、をあてはめる地域は以外の地域であって通常的生活を保全する必要がある地域とする。

- 2 1の環境基準の基準値は、次の方法により測定・評価した場合における値とする。
- (1) 測定は、原則として連続7日間行い、騒音レベルの最大値が暗騒音より10デシベル以上大きい航空機騒音について、単発騒音暴露レベル( $L_{AE}$ )を計測する。なお、単発騒音暴露レベルの求め方については、日本工業規格 Z 8731 に従うものとする。
  - (2) 測定は、屋外で行うものとし、その測定点としては、当該地域の航空機騒音を代表すると認められる地点を選定するものとする。
  - (3) 測定時期としては、航空機の飛行状況及び風向等の気象条件を考慮して、測定点における航空機騒音を代表すると認められる時期を選定するものとする。
  - (4) 評価は、算式アにより1日（午前0時から午後12時まで）ごとの時間帯補正等価騒音レベル( $L_{den}$ )を算出し、全測定日の $L_{den}$ について、算式イによりパワー平均を算出するものとする。

#### 算式ア

$$10\log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left( \sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej+5}}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk+10}}{10}} \right) \right\}$$

- （注） $i$ 、 $j$ 及び $k$ とは、各時間帯で観測標本の $i$ 番目、 $j$ 番目及び $k$ 番目をいい、  
 $L_{AE,di}$ とは、午前7時から午後7時までの時間帯における $i$ 番目の $L_{AE}$ 、  
 $L_{AE,ej}$ とは、午後7時から午後10時までの時間帯における $j$ 番目の $L_{AE}$ 、  
 $L_{AE,nk}$ とは、午前0時から午前7時まで及び午後10時から午後12時までの時間帯における $k$ 番目の $L_{AE}$ をいう。  
また、 $T_0$ とは、規準化時間（1秒）をいい、 $T$ とは、観測1日の時間（86400秒）をいう。

算式イ

$$10\log_{10}\left(\frac{1}{N}\sum_i 10^{\frac{L_{den,i}}{10}}\right)$$

(注)  $N$  とは、測定日数をいい、 $L_{den,i}$  とは、測定日のうち  $i$  日目の測定日の  $L_{den}$  をいう。

(5) 測定は、計量法（平成4年法律第51号）第71条の条件に合格した騒音計を用いて行うものとする。この場合において、周波数補正回路はA特性を、動特性は遅い動特性（SLOW）を用いることとする。

3 1の環境基準は、1日当たりの離着陸回数が10回以下の飛行場であって、警察、消防及び自衛隊等専用の飛行場並びに離島にある飛行場の周辺地域には適用しないものとする。

## 第2 達成期間等

1 環境基準は、公共用飛行場等の周辺地域においては、飛行場の区分ごとに次表の達成期間の欄に掲げる期間で達成され、又は維持されるものとする。この場合において、達成期間が5年をこえる地域においては、中間的に同表の改善目標の欄に掲げる目標を達成しつつ、段階的に環境基準が達成されるようにするものとする。

飛行場の区分		達成期間	改善目標
新設飛行場		直ちに	
既設飛行場	第三種空港及びこれに準ずるもの		
	第二種空港（福岡空港を除く。）	A	5年以内
		B	
	成田国際空港		10年以内
第一種空港（成田国際空港を除く。）及び福岡空港		10年をこえる期間内に可及的速やかに	1 5年以内に、70デシベル未満とすること又は70デシベル以上の地域において屋内で50デシベル以下とすること。 2 10年以内に、62デシベル未満とすること又は62デシベル以上の地域において屋内で47デシベル以下とすること。

### 備考

- 既設飛行場の区分は、環境基準が定められた日における区分とする。
- 第二種空港のうち、Bとはターボジェット発動機を有する航空機が定期航空運送事業として離着陸するものをいい、AとはBを除くものをいう。
- 達成期間の欄に掲げる期間及び改善目標を達成するための期間は、環境基準が定められた日から起算する。
- 自衛隊等が使用する飛行場の周辺地域においては、平均的な離着陸回数及び機種並びに人家の密集度を勘案し、当該飛行場と類似の条件にある前項の表の飛行場の区分に準じて環境基準が達成され、又は維持されるように努めるものとする。
- 航空機騒音の防止のための施策を総合的に講じて、1の達成期間で環境基準を達成することが困難と考えられる地域においては、当該地域に引き続き居住を希望する者に対し家屋の防音工事等を行うことにより環境基準が達成された場合と同等の屋内環境が保持されるようにするとともに、極力環境基準の速やかな達成を期するものとする。

## (2) 航空機騒音に係る環境基準の一部改正について(通知)

平成 19 年 12 月 17 日 環水大大発第 071217004 号  
環境省水・大気環境局長から各都道府県知事あて

航空機騒音に係る環境基準の一部を改正する告示(環境省告示第 114 号)が平成 19 年 12 月 17 日に公布され、平成 25 年 4 月 1 日から施行される。

航空機騒音に係る環境基準(以下「基準」という。)は、昭和 48 年 12 月 27 日付け環境庁告示第 154 号をもって設定され、騒音の評価指標として *WECPNL* が採用されてきた。しかし、近年、騒音測定機器が技術的に進歩し、また、国際的にも騒音の評価には等価騒音レベルを基本とした評価指標が採用されている。今回の基準の改正は、このような動向を踏まえ、平成 19 年 6 月 27 日付けの中央環境審議会答申「航空機騒音に係る環境基準の改正について」(中環審第 409 号)を踏まえ、騒音の評価指標を *WECPNL* から時間帯補正等価騒音レベル( $L_{den}$ )に改正するものである。

このような改正の趣旨にかんがみ、下記の事項に留意の上、環境基準の地域類型をあてはめる地域の指定(以下、「地域指定」という。)及びその運用に遺漏なきを期されるとともに、各関係機関と連携を図りつつ、本基準の維持、達成のための施策の実施に関し、格段の御努力をいただきたく通知する。

なお、「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和 49 年 7 月 2 日環大特第 42 号環境庁大気保全局長から各都道府県知事あて通知)及び「小規模飛行場環境保全暫定指針」(平成 2 年 9 月 13 日環大企第 342 号環境庁大気保全局長から各都道府県知事及び政令指定都市市長あて)は、平成 25 年 3 月 31 日をもって廃止する。

おって、関係省に対し、別添の文書を送付したので念のため申し添える。

記

### 第 1 改正の概要

#### 1 評価指標について

評価指標の改正に当たっては、騒音測定機器の技術的な進歩、 $L_{den}$  等の等価騒音レベルを基本とした指標が国際的に採用されている状況等を総合的に勘案し、新たな評価指標を *WECPNL* から  $L_{den}$  に改正した。

なお、 $L_{den}$  については、算式アにより 1 日ごとの  $L_{den}$  を算出し、全測定日の  $L_{den}$  について、算式イによりパワー平均を算出するものとする。ただし、 $L_{AE}$ (単発騒音暴露レベル)の求め方については、日本工業規格 Z 8731 によるものとする。

算式ア

$$10\log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left( \sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej+5}}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk+10}}{10}} \right) \right\}$$

(注)  $i$ 、 $j$  及び  $k$  とは、各時間帯で観測標本の  $i$  番目、 $j$  番目及び  $k$  番目をいい、  
 $L_{AE,di}$  とは、午前 7 時から午後 7 時までの時間帯における  $i$  番目の  $L_{AE}$ 、  
 $L_{AE,ej}$  とは、午後 7 時から午後 10 時までの時間帯における  $j$  番目の  $L_{AE}$ 、  
 $L_{AE,nk}$  とは、午前 0 時から午前 7 時まで及び午後 10 時から午後 12 時までの時間帯における  $k$  番目の  $L_{AE}$  をいう。  
また、 $T_0$  とは、規準化時間(1 秒)をいい、 $T$  とは、観測 1 日の時間(86400 秒)をいう。

算式イ

$$10\log_{10} \left( \frac{1}{N} \sum_i 10^{\frac{L_{den,i}}{10}} \right)$$

(注)  $N$  とは、測定日数をいい、 $L_{den,i}$  とは、測定日のうち  $i$  日目の測定日の  $L_{den}$  をいう。

## 2 基準値について

基準値の設定に当たっては、まずは、現行基準レベルの早期達成を実現することが肝要であることから、騒音対策の継続性も考慮し、引き続き現行の基準値に相当するレベルとした。

## 3 小規模飛行場の扱いについて

今般の改正により、小規模飛行場環境保全暫定指針を統合することとし、これまで基準の適用除外とされてきた1日当たりの離着陸回数が10回以下の飛行場についても、基準を適用することとする。ただし、警察、消防及び自衛隊等専用の飛行場については適用しない。

ここで、「1日当たりの離着陸回数が10回以下の飛行場」とは、飛行場及び反復継続使用される場外離着陸場のうち1日当たりの離着陸回数が10回以下のものをいう。また、自衛隊法（昭和29年法律第165号）第2条第1項に規定する自衛隊又は日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約（昭和35年条約第6号）に基づき日本国にあるアメリカ合衆国の軍隊（以下「自衛隊等」という。）が使用する飛行場であって、自衛隊等の航空機が1年間に当該飛行場に離着陸した回数（緊急的な離着陸を除く。）を年間総日数で除した値が10以下のものをいう。

なお、「警察、消防及び自衛隊等専用の飛行場」とは、警察、消防及び自衛隊等が専用使用する飛行場をいい、また、災害派遣、航空救難等の緊急的な運航については、基準は適用されない。

## 第2 その他

### 1 地域指定について

地域指定については、「航空機騒音に係る環境基準の類型を当てはめる地域の指定に係る法定受託事務の処理基準について」（平成13年1月5日環大企第1号環境庁大気保全局長から各都道府県知事あて）により記しているところであるが、地域指定を行ったときは、遅滞なく環境省に報告するとともに、直ちに都道府県の公報に掲載するなどにより公示し、関係住民等に周知させるよう配慮すること。

### 2 経過措置について

施行については、新たな評価指標である $L_{den}$ による測定の準備に要する期間等を考慮して平成25年4月1日としたところである。貴職におかれては、施行までに $L_{den}$ による測定が実施できる態勢の整備に万全を期されたい。また、施行までに $L_{den}$ による測定が可能となった場合は、各飛行場における $L_{den}$ の実態を把握することが重要であることから、現行の評価指標である $WECPNL$ による環境基準値の評価を行うとともに、 $L_{den}$ による調査も併せて実施することが望ましい。

### 3 測定について

$L_{den}$ による測定については、航空機騒音監視測定マニュアル（仮称）の策定などを予定しており、これらについては今後別途通知する。

### 4 達成期間について

達成期間に示す期間は、これまでと同様に、基準が定められた昭和48年12月27日を起点としている。

(3) 航空機騒音に係る環境基準の地域類型ごとの地域の指定 (千葉県告示)

	昭和 53 年 8 月 29 日	千葉県告示第 695 号
改正	平成 3 年 11 月 29 日	千葉県告示第 1017 号
改正	平成 8 年 4 月 1 日	千葉県告示第 441 号
改正	平成 13 年 5 月 11 日	千葉県告示第 592 号
改正	平成 25 年 2 月 22 日	千葉県告示第 70 号
改正	平成 30 年 3 月 23 日	千葉県告示第 132 号

環境基本法(平成5年法律第91号)第16条第2項の規定により航空機騒音に係る環境基準(昭和48年環境庁告示第154号)の地域の類型ごとに指定する地域を次のとおり定める。

地域指定

地域の類型	該 当 地 域
	別表第1に掲げる区域のうち、都市計画法(昭和43年法律第100号)第8条第1項第1号の規定により定められた第一種低層住居専用地域、第二種低層住居専用地域、第一種中高層住居専用地域、第二種中高層住居専用地域、第一種住居地域、第二種住居地域、準住居地域及び田園住居地域並びに同号に規定する用途地域の定められていない地域のうち別表第2に掲げる工業団地を除いた地域
	別表第1に掲げる区域のうち、都市計画法第8条第1項第1号の規定により定められた近隣商業地域、商業地域、準工業地域及び工業地域並びに別表第2に掲げる工業団地

別表第1

飛行場名	区 域
成田国際空港	成田市、富里市及び山武市並びに印旛郡栄町、香取郡多古町及び山武郡横芝光町及び芝山町の全域。ただし、都市計画法第8条第1項第1号の規定により定められた工業専用地域及び成田国際空港の敷地を除く。
東京国際空港 及び 木更津飛行場	木更津市及び君津市の全域。 ただし、都市計画法第8条第1項第1号の規定により定められた工業専用地域及び木更津飛行場の敷地を除く。
下総飛行場	船橋市、柏市、鎌ヶ谷市及び白井市のうち別図第1に表示する実線によって囲まれた地域。ただし、都市計画法第8条第1項第1号の規定により定められた工業専用地域及び下総飛行場の敷地を除く。

備考 別図第1は省略し、千葉県環境生活部大気保全課において縦覧に供する。

別表第2

名 称	市町村名	区 域
富里工業団地	富里市	立沢新田、十倉及び高野のうち別図第2で示す部分
松尾工業団地	山武市	上横地、松尾町借毛本郷、松尾町下野及び松尾町下之郷のうち別図第2で示す部分
芝山工業団地 (木崎地区)	山武郡芝山町	小池のうち別図第2で示す部分

備考 別図第2は省略し、千葉県環境生活部大気保全課において縦覧に供する。

(4) 航空機騒音に係る環境基準の類型を当てはめる地域の指定に係る法定受託事務の処理基準について(通知)

平成13年1月5日 環大企第1号  
環境庁大気保全局長から各都道府県知事あて  
[改定]平成30年2月19日 環水大大発 1802193号

航空機騒音に係る環境基準の類型を当てはめる地域の指定に係る法定受託事務の処理基準が下記のとおり定められたので、通知する。

記

地方分権の推進を図るための関係法律の整備等に関する法律(平成11年法律第87号)の制定により、環境基本法(平成5年法律第91号)第16条第2項の規定により、環境基本法第16条第1項の基準についての同条第2項の規定による地域の指定に関する事務は、その地域が属する都道府県知事が処理するものとされた。このうち、同法第40条の2及び同条の規定に基づく「環境基準に係る地域又は水域の指定の事務に関する政令」(平成5年政令第371号)第2条の規定により、交通に起因して生ずる騒音に係る地域の指定に関する事務は、都道府県知事が地方自治法(昭和22年法律第67号)第2条第9項第1号に規定する第1号法定受託事務として行うこととされた。都道府県知事が事務を行う際には、「航空機騒音に係る環境基準について」(昭和48年12月環境庁告示第154号)に定めるほか、別添により地域の類型を当てはめて、その指定を行われたい。

別添

航空機騒音に係る環境基準の類型を当てはめる地域の指定について

- 1 環境基準の地域類型を当てはめる地域は、航空機騒音から生活環境を保全する必要がある地域とすること。したがって、工業専用地域、原野、海上等は地域類型の当てはめを行わないものとする。なお、「航空機騒音」とは、ターボジェット発動機、ターボファン発動機、ターボプロップ発動機、ターボシャフト発動機又はピストン発動機等を主な動力とする航空機の運航に伴って発生する飛行騒音並びに飛行場内における航空機の運用や機体の整備に伴って発生する地上騒音をいう。
- 2 地域類型の当てはめに際しては、当該地域の土地利用等の状況を勘案して行うこと。この場合において、都市計画法(昭和43年法律第100号)に基づく用途地域が定められている地域にあつては、原則として、第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域及び田園住居地域を類型 に当てはめるものとし、その他を類型 に当てはめるものとする。また、用途地域が定められていない地域にあつては、現在及び将来の土地利用状況を勘案し、現在市街化している地域又は将来の市街化が予定されている地域のうち、第1種低層住居専用地域、第2種低層住居専用地域、第1種中高層住居専用地域、第2種中高層住居専用地域及び田園住居地域に相当する地域を類型 に当てはめる等用途地域が定められている地域に準じて当てはめを行うこと。
- 3 地域の指定の見直しは、おおむね5年ごとに土地利用等の状況の変化に応じて行うとともに、土地利用計画(土地基本法(平成1年法律第84号)第11条第1項に規定する土地利用計画をいう。以下同じ。)上の大幅な変更があつた場合にも速やかに行うこと。
- 4 「航空機騒音に係る環境基準について」第1の3中「1日当たりの離着陸回数が10回以下の飛行場」とは、飛行場及び反復継続使用される場外離着陸場のうち1日当たりの離着陸回数が10回以下のものをいう。また、自衛隊法(昭和29年法律第165号)第2条第1項に規定する自衛隊又は日本国とアメリカ合衆国との間の相互協力及び安全保障条約(昭和35年条約第6号)に基づき日本国にあるアメリカ合衆国の軍隊(以下「自衛隊等」という。)が使用する飛行場であつて、自衛隊等の航空機が1年間に当該飛行場に離着陸

した回数（緊急時の離着陸を除く。）を年間総日数で除した値が10以下のものをいう。

なお、同中「警察、消防及び自衛隊等専用の飛行場」とは、警察、消防及び自衛隊等が専用に使用する飛行場をいい、また、災害派遣、航空救難等の緊急時の運航については、環境基準は適用されない。

- 5 「航空機騒音に係る環境基準について」第1の3中「離島にある飛行場」とは、離島振興法（昭和28年法律第72号）第2条第1項に規定する離島振興対策実施地域が存する離島、沖縄振興特別措置法（平成14年法律第14号）第3条第3号に規定する離島、奄美群島振興開発特別措置法（昭和29年法律第189号）第1条に規定する奄美群島及び小笠原諸島振興開発特別措置法（昭和44年法律第79号）第2条第1項に規定する小笠原諸島にある飛行場をいう。
- 6 「航空機騒音に係る環境基準について」第2の1の表の既設飛行場の項中「これに準ずるもの」とあるのは、空港整備法及び航空法の一部を改正する法律（平成20年法律第75号）による改正前の空港整備法（昭和31年法律第80号）第2条第1項に規定する空港及び自衛隊等が使用する飛行場を除く飛行場並びに航空法（昭和27年法律第231号）第79条ただし書の規定により国土交通大臣の許可を受けた離着陸の場所であって、反復して使用されるものをいう。

### 3 航空機騒音に係る関係機関に対する要請等

年 月 日	宛	発	要 請 要 旨	備 考
昭和46年 1月8日	新東京国際空 港建設実施本 部長 (運輸大臣)	知事	1 航路の設定(進入角度、飛行コ-ス、 待機飛行空域、飛行高度)について 2 運行時間の厳守について 3 騒音区域の買収について 4 学校等に対する防音工事について 5 エンジンの試運転の防音対策について 6 民家等の騒音対策に係る財源について 7 地域開発に係る財源について	
昭和46年 1月29日		大臣	対策を行う旨の回答	
昭和53年 11月25日	環境庁 大気保全局長	知事	1 環境基準(WECPNL)の見直しについて 2 環境基準の類型区分の見直しについて 3 環境基準に係る改善目標(中間目標) の達成について(昭和53年12月26日まで) 4 環境基準達成年限(昭和58年12月26日 )の繰上げについて 5 監視測定の実施主体等について 6 低周波空気振動対策について	環境基準の地 域類型あては め告示(昭和5 3年8月29日)
昭和54年 1月30日	知事	局長	環境庁大気保全局の見解を回答	
昭和53年 11月30日	新東京国際 空港公団総裁	知事	1 環境基準に係る改善目標(中間目標) の達成について(昭和53年12月26日まで) 2 環境基準の早期達成について(昭和58 年12月26日まで) 3 低周波空気振動対策について	
昭和54年 1月29日	知事	総裁	公団の対応状況を回答	
昭和56年 11月19日	新東京国際 空港公団総裁	知事	1 飛行コ-スずれの改善 2 飛行コ-ス監視測定の実施	昭和55年飛行 コ-ス実態調 査結果による
昭和58年 10月6日	運輸省 航空局長	知事	1 深夜早期時間帯の飛行便数低減 2 低騒音型機の積極的導入 3 飛行コ-スの遵守指導 4 空港周辺騒音対策の推進	環境基準の達 成期限(昭和5 8年12月26日) を控え
	新東京国際 空港公団総裁	知事	1 深夜早期時間帯の飛行便数低減 2 飛行コ-スの遵守指導 3 空港周辺騒音対策の推進	
昭和58年 10月7日	環境庁 大気保全局長	知事	運輸省及び新東京国際空港公団への要請 に係る協力依頼	
昭和59年 6月21日	運輸省 航空局長	知事	1 深夜早期時間帯の飛行便数低減 2 低騒音型機の積極的導入 3 飛行コ-スの遵守指導 4 空港周辺騒音対策の推進	環境基準の達 成期限(昭和5 8年12月26日) 後の実態調査 結果(一部地域 で基準を超過) を踏まえて
	新東京国際空 港公団総裁	知事	1 深夜早期時間帯の飛行便数低減 2 飛行コ-スの遵守指導 3 空港周辺騒音対策の推進	
昭和59年 6月26日	環境庁 大気保全局長	知事	運輸省及び新東京国際空港公団への要請 に係る協力依頼	

年 月 日	宛	発	要 請 要 旨	備 考
昭和60年 11月11日	運輸省 航空局長	知事	1 深夜早期時間帯の飛行便数低減 2 飛行コ - スの遵守指導 3 空港周辺騒音対策の推進	昭和60年度夏季調査において飛行コ - スずれが多く見られたため
	新東京国際空港公団総裁	知事	1 深夜早期時間帯の飛行便数低減 2 飛行コ - スの遵守指導	
昭和60年 11月27日	環境庁 大気保全局長	知事	運輸省及び新東京国際空港公団への要請に係る協力依頼	
昭和63年 8月19日	新東京国際空港公団周辺対策部長	環境部長	1 深夜早期時間帯の飛行便数低減 2 飛行コ - スの遵守指導	昭和62年度実態調査において一部環境基準を上回る地域があり、飛行コ - スずれも一部見られたため
平成元年 11月20日	運輸省 航空局長	知事	1 深夜早期時間帯の飛行便数低減 2 飛行コ - スの遵守指導 3 航空機の低騒音化技術開発の促進 4 空港周辺騒音対策の推進	昭和63年度実態調査及び固定測定局測定結果(一部環境基準を上回る地域があり、騒防法区域外での75WECPNL超過も見られた等)に基づき
	新東京国際空港公団総裁	知事	1 深夜早期時間帯の飛行便数低減 2 飛行コ - スの遵守指導 3 空港周辺騒音対策の推進	
平成元年 11月28日	環境庁 大気保全局長	知事	運輸省及び新東京国際空港公団への要請に係る協力依頼	
平成3年 12月20日	運輸省航空局 新東京国際空港課長	部長	1 航空機低騒音化のための技術開発促進 2 深夜早朝時間帯の飛行便数低減 3 飛行コ - スの遵守指導	
	新東京国際空港公団周辺対策部長	部長	1 深夜早朝時間帯の飛行便数低減 2 飛行コ - スの遵守指導	
	環境庁大気保全局企画課長	部長	運輸省及び新東京国際空港公団への要請に係る協力依頼	
平成5年 5月14日	運輸省 航空局長	知事	1 航空機の低騒音化に対する技術開発の促進 2 低騒音型新鋭機の導入促進を図るための指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行便数の低減飛行コースの遵守を始めとする騒音軽減運行方式の確立	平成3年度においても引き続き環境基準の達成率が低い状況にあるため
	新東京国際空港公団総裁	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行便数の低減飛行コースの遵守を始めとする騒音軽減運行の実施の指導	
	環境庁大気保全局長	知事	関係機関等に勧告等の措置を講ずるよう要請	
平成8年 1月23日	運輸省 航空局長	知事	1 航空機の低騒音化に対する技術開発の促進 2 低騒音型新鋭機の導入促進を図るための指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行便数の低減飛行コースの遵守を始めとする騒音軽減運行方式の確立	平成6年度においても引き続き環境基準の達成率が低い状況にあるため

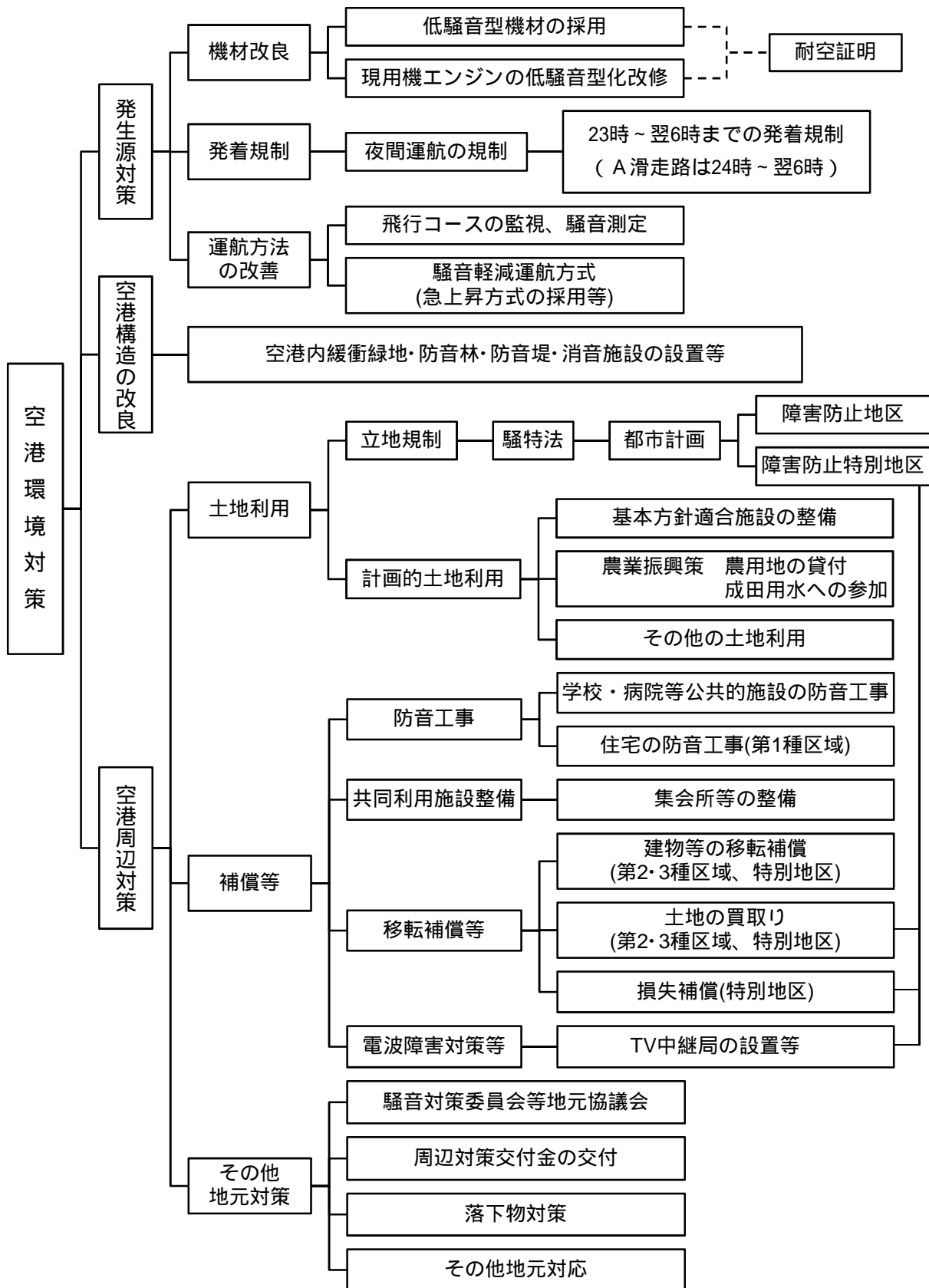
年 月 日	宛	発	要 請 要 旨	備 考
平成8年 1月23日	新東京国際空 港公団総裁	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減飛行コースの遵守を始めとする 騒音軽減運行の実施の指導 2 空港敷地内外における防音林・防音堤等 の防音対策の拡充	
	環境庁大気保 全局長	知事	運輸省及び新東京国際空港公団への要請 に係る協力依頼	
平成10年 2月12日	運輸省 航空局長	知事	1 航空機の低騒音化に対する技術開発の 促進 2 低騒音型新鋭機の導入促進を図るため の指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減飛行コースの遵守を始めとする 騒音軽減運行方式の確立	平成8年度に おいても引き 続き環境基準 の達成率が低 い状況にある ため
	新東京国際空 港公団総裁	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減飛行コースの遵守を始めとする 騒音軽減運行の実施の指導 2 空港敷地内外における防音林・防音堤等 の防音対策の拡充	
	環境庁 大気保全局長	知事	運輸省及び新東京国際空港公団への要請に 係る協力依頼	
平成11年 2月8日	運輸省 航空局長	知事	1 航空機の低騒音化に対する技術開発の 促進 2 低騒音型新鋭機の導入促進を図るため の指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減飛行コースの遵守を始めとする 騒音軽減運行方式の確立	平成9年度に おいても引き 続き環境基準 の達成率が低 い状況にある ため
	新東京国際空 港公団総裁	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減飛行コースの遵守を始めとする 騒音軽減運行の実施の指導 2 空港敷地内外における防音林・防音堤 等の防音対策の拡充	
	環境庁 大気保全局長	知事	運輸省及び新東京国際空港公団への要請に 係る協力依頼	
平成13年 2月20日	国土交通省 航空局長	知事	1 航空機の低騒音化に対する技術開発の 促進 2 低騒音型新鋭機の導入促進を図るため の指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減飛行コースの遵守を始めとする 騒音軽減運行方式の確立	平成11年度 においても引 き続き環境基 準の達成率が 低い状況にあ るため
	新東京国際空 港公団総裁	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減飛行コースの遵守を始めとする 騒音軽減運行の実施の指導 2 空港敷地内外における防音林・防音堤 等の防音対策の拡充	
	環境省 環境管理局長	知事	運輸省及び新東京国際空港公団への要請に 係る協力依頼	

年 月 日	宛	発	要 請 要 旨	備 考
平成16年 2月27日	新東京国際空 港公団総裁	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減、飛行コースの遵守を始めとす る騒音軽減運行の実施の指導 2 空港敷地内外における防音林・防音提等 の防音対策の拡充	平成14年度 においても引 き続き環境基 準の達成率が 低い状況にあ るため
平成16年 3月1日	国土交通省 航空局長	知事	1 航空機の低騒音化に対する技術開発の 促進 2 低騒音型新鋭機の導入促進を図るため の指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減、飛行コースの遵守を始めとす る騒音軽減運行方式の確立	
	環境省 環境管理局長	知事	運輸省及び新東京国際空港公団への要請に 係る協力依頼	
平成18年 3月27日	成田国際空港 株式会社代表 取締役社長	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減、飛行コースの遵守を始めとす る騒音軽減運行方式の徹底 2 空港敷地内外における防音林・防音提等 の防音対策の拡充	平成16年度 においても引 き続き環境基 準の達成率が 低い状況にあ るため
	国土交通省 航空局長	知事	1 航空機の一層の低騒音化のための技術 開発の促進 2 空港及び航空会社に対する低騒音型機 材の導入促進の指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減、飛行コースの遵守を始めとす る騒音軽減運行方式の徹底	
	環境省水・ 大気環境局長	知事	国土交通省及び成田国際空港株式会社へ の要請に係る協力依頼	
平成20年 3月25日	成田国際空港 株式会社代表 取締役社長	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する飛行 便数の低減、飛行コースの遵守を始めとす る騒音軽減運行方式の徹底 2 低騒音型機材の導入促進 3 空港敷地内外における防音林・防音提等 の防音対策の拡充	平成18年度 においても引 き続き環境基 準の達成率が 低い状況にあ るため
	国土交通省 航空局長	知事	1 航空機の一層の低騒音化のための技術 開発の促進 2 空港及び航空会社に対する低騒音型機 材の導入促進の指導 3 深夜・早朝等の時間帯における航空機騒 音の一層の低減、飛行コースの遵守を始め とする騒音軽減運行方式の指導	
	環境省水・ 大気環境局長	知事	国土交通省及び成田国際空港株式会社へ の要請に係る協力依頼	
平成22年 3月30日	成田国際空港 株式会社代表 取締役社長	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する航空 機の一層の低騒音化及び飛行コースの遵 守を始めとする騒音低減運行方式の徹底 2 低騒音型機材の導入促進 3 空港敷地内外における防音林・防音提等 の防音対策の拡充	

年 月 日	宛	発	要 請 要 旨	備 考
平成 22 年 3月30日	国土交通省 航空局長	知事	1 航空機の低騒音化を図るための更なる技術開発の促進 2 空港及び航空会社に対する低騒音型機材の導入促進の指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する航空機の一層の低騒音化及び飛行コースの遵守を始めとする騒音低減運行方式の指導	
	環境省水・ 大気環境局長	知事	国土交通省及び成田国際空港株式会社への要請に係る協力依頼	
平成 24 年 3月 21 日	成田国際空港 株式会社代表 取締役社長	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する航空機の一層の低騒音化及び飛行コースの遵守を始めとする騒音低減運行方式の徹底 2 低騒音型機材の導入促進 3 空港内における航空機騒音（地上音）の一層の低減対策の推進及び防音林・防音堤等の防音対策の拡充	
平成 24 年 3月 27 日	国土交通省 航空局長	知事	1 航空機の一層の低騒音化を図るための技術開発の促進 2 空港及び航空会社に対する低騒音型機材の導入促進の指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する航空機騒音の一層の低減、飛行コースの遵守を始めとする騒音低減運行方式の指導 4 空港内における航空機騒音（地上音）の一層の低減対策の推進の指導	
平成 26 年 2月 14 日	成田国際空港 株式会社代表 取締役社長	知事	1 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する航空機騒音の一層の低減、飛行コースの遵守をはじめとする騒音軽減運航方式の徹底 2 低騒音型機材の導入促進 3 空港内における航空機騒音（地上音）の一層の低減対策の推進及び空港敷地内外における防音林・防音堤等の防音対策の拡充	
	国土交通省 航空局長	知事	1 航空機の一層の低騒音化のための技術開発の促進 2 空港及び航空会社に対する低騒音型機材の導入促進の指導 3 深夜・早朝等の時間帯に離着陸する航空機騒音の一層の低減、飛行コースの遵守をはじめとする騒音軽減運航方式の指導 4 空港内における航空機騒音（地上音）の一層の低減対策の推進の指導	
平成 26 年 2月 21 日	環境省水・ 大気環境局長	知事	国土交通省及び成田国際空港株式会社への要請に係る協力依頼	
	成田国際空港 株式会社代表 取締役社長	知事	空港の運営において、空港周辺における航空機騒音の影響を軽減し、地域住民の生活環境を向上させるための対策をより一層講じるよう要請	

年 月 日	宛	発	要 請 要 旨	備 考
平成 28 年 3 月 23 日	国土交通省 航空局長	知事	成田国際空港に係る施策の実施の際、空港 周辺における航空機騒音の影響を軽減し、地 域住民の生活環境を向上させるための施策 についても併せて実施するよう要請	
平成 30 年 1 月 22 日	成田国際空港 株式会社代表 取締役社長	知事	低騒音型航空機の更なる導入促進など、空 港周辺における航空機騒音の影響を軽減し、 地域住民の生活環境を向上させるための対 策をより一層講じるよう要請	
平成 30 年 1 月 23 日	国土交通省 航空局長	知事	成田国際空港に係る施策の実施にあたり、 空港周辺における航空機騒音の影響を軽減 し、地域住民の生活環境を向上させるため の施策についても併せて実施するよう要請	
令和 2 年 1 月 29 日	成田国際空港 株式会社代表 取締役社長	知事	低騒音型航空機の更なる導入促進など、空 港周辺における航空機騒音の影響を軽減し、 地域住民の生活環境を向上させるための対 策をより一層講じるよう要請	
令和 2 年 1 月 30 日	国土交通省 航空局長	知事	成田国際空港に係る施策の実施にあたり、 空港周辺における航空機騒音の影響を軽減 し、地域住民の生活環境を向上させるため の施策についても併せて実施するよう要請	

#### 4 成田国際空港周辺における環境対策の体系



平成 23 年 7 月の地上デジタル放送への移行に伴い、対策は終了している。

## 5 用語の説明

### $L_{den}$ (時間帯補正等価騒音レベル)

個々の航空機騒音の  $L_{AE}$  (単発騒音暴露レベル) に夕方 (午後 7 時 ~ 午後 10 時) の  $L_{AE}$  には 5 デシベル、深夜・早朝 (午後 10 時 ~ 午前 7 時) の  $L_{AE}$  には 10 デシベルを加え、1 日の平均を次式により算出したもの。

(算出式)

$$10\log_{10} \left\{ \frac{T_0}{T} \left( \sum_i 10^{\frac{L_{AE,di}}{10}} + \sum_j 10^{\frac{L_{AE,ej}+5}{10}} + \sum_k 10^{\frac{L_{AE,nk}+10}{10}} \right) \right\}$$

$L_{AE,di}$  : 午前 7 時から午後 7 時までの  $i$  番目の  $L_{AE}$

$L_{AE,ej}$  : 午後 7 時から午後 10 時までの  $j$  番目の  $L_{AE}$

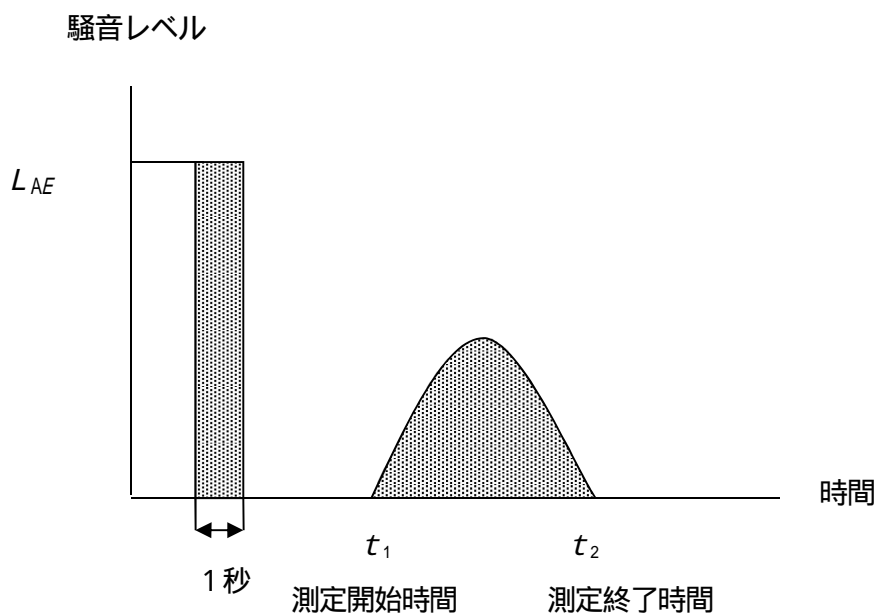
$L_{AE,nk}$  : 午前 0 時から午前 7 時及び午後 10 時から午後 12 時までの  $k$  番目の  $L_{AE}$

$T_0$  : 1 秒

$T$  : 86,400 秒 (= 24 時間 = 1 日)

### $L_{AE}$ (単発騒音暴露レベル)

単発的に発生する騒音の全エネルギーと等しいエネルギーを持つ継続時間 1 秒の定常音の騒音レベル



## WECPNL (加重等価平均感覚騒音レベル)

Weighted Equivalent Continuous Perceived Noise Level の略。

航空機騒音測定、評価のために考案されたもので航空機騒音の特異性、継続時間の効果、昼夜の別等も加味した騒音のうるささの単位で、平成24年度までの「航空機騒音に係る環境基準」の評価に使用されてきた。

環境基準値は 類型の地域が70以下、 類型の地域が75以下とされ、各類型を当てはめる地域は都道府県知事が指定していた。

$$\text{(算出式)} \quad \text{WECPNL} = \overline{\text{dB(A)}} + 10 \log_{10} N - 27$$

$\overline{\text{dB(A)}}$  : ピークレベルのパワー平均値

$N$  (加重回数) :  $N_2 + 3N_3 + 10(N_1 + N_4)$

$N_1$  : 0時から7時までの航空機騒音発生回数

$N_2$  : 7時から19時までの "

$N_3$  : 19時から22時までの "

$N_4$  : 22時から24時までの "

## パワー平均

騒音の大きさ(騒音レベル)は、一般には騒音計の周波数補正回路A特性で測定した値をいう。(単位はdB)

騒音の大きさは、物理量である音のエネルギーを対数で圧縮し、取り扱いやすい数値としていることから、その平均は、それぞれの騒音レベルを一度エネルギー量にもどして算術平均したうえで対数圧縮して求める。これをパワー平均という。

(計算式)

$$\overline{\text{dB(A)}} = 10 \log_{10} \left[ \frac{1}{n} (10^{L_{A1}/10} + 10^{L_{A2}/10} + \dots + 10^{L_{An}/10}) \right]$$

$\overline{\text{dB(A)}}$  : 騒音レベルのパワー平均値

$L_{A1}, L_{A2}, \dots, L_{An}$  : 1回ごとの騒音レベル

$n$  : 騒音発生回数



令和元年度成田国際空港周辺  
航空機騒音測定結果報告書

令和3年2月  
千葉県環境生活部大気保全課  
特殊公害班  
千葉市中央区市場町1番1号  
電話 043(223)3805